

證ヲ立テシメテ假差押ヲ命スルコトヲ至當トスルトキハ裁判所ハ先ツ債権者ニ保證ヲ立ツヘキコトヲ命シ債権者カ之ヲ立テタル後ニ至リテ假差押ヲ命スルコトヲ得ヘシ從テ債権者カ請求又ハ假差押ノ理由ニ關シテ必要ナル疏明ヲ爲ササル限りハ每ニ其申請ヲ却下スヘキモノト謂フヲ得サルナリ

債権者カ請求及ヒ假差押ノ理由ヲ疏明シタルトキト雖モ裁判所ハ假差押ニ依リテ債務者ニ生スヘキ損害ニ付キ保證ヲ立ツヘキコトヲ債権者ニ命シ債権者カ之ヲ立テタル後ニ至リテ假差押ヲ命スルコトヲ得ルモノトス是レ假差押命令ヲ得ルニハ請求及ヒ假差押ノ理由ノ存在セサルニ拘ラス假差押ヲ受ケ之ニ依リテ損害ヲ被ルコト尠カラサルカ爲メ之ヲ保護セントスルモノニ外ナラサルナリ(七四一)三保證ヲ立ツルコトヲ債権者ニ命スル裁判ハ口頭辯論ヲ經ルコトヲ要セサルモノナルカ故ニ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ此裁判ハ之ヲ債務者ニ通知スルコトヲ要セス蓋シ債務者ハ此裁判ヲ知ルニ付キ利益ヲ有セサルノミナラス之ヲ債務者ニ通知スルトキハ債務者ハ假差押アルコトヲ豫知シ之

ニ先チテ債権者ニ不利益ナル財産上ノ處分ヲ爲ス恐アルヲ以テナリ(七四二、二)

### 第三款 假差押ノ申請ニ關スル裁判

假差押ノ申請ニ付キテハ口頭辯論ヲ經スシテ裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七四一、一)故ニ債権者カ本案ノ口頭辯論ニ於テ假差押ノ申請ヲ爲シタルトキト雖モ其申請ニ付キテハ口頭辯論ヲ爲スコトヲ要セサルモノト謂フヘシ假差押ノ申請ニ關スル裁判ハ之ヲ却下スル裁判及ヒ假差押ヲ命スル裁判即チ假差押命令ナリ

假差押ノ申請ニ付キテハ口頭辯論ヲ爲ササル場合ニ於テハ決定ヲ以テ之ニ關スル裁判ヲ爲スヘキモノナリ此場合ニ於ケル決定ハ職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達スヘキモノトス(一四五、一、三)然レトモ假差押ノ申請ヲ却下スル決定ハ之ヲ債務者ニ通知スルコトヲ要セス蓋シ債務者ハ此決定ヲ知ルニ付キ利益ヲ有セサルヲ以テナリ(七四二、二)此點ニ付キテハ假差押ノ申請ヲ却下スル判決ニ付テノ説明ヲ參照スヘシ

假差押ノ申請ヲ却下シ又ハ假差押ヲ命スル決定ニ於テハ終局判決ニ於ケルト

同ク訴訟費用ノ負擔ニ關スル裁判ヲ爲スヘキモノトス即チ其申請ヲ却下スル決定ニ於テハ債権者ニ訴訟費用ノ負擔ヲ命シ又假差押ヲ命スル決定ニ於テハ債務者ニ其負擔ヲ命スヘキモノトス或ハ曰ク假差押ノ申請ヲ却下シ又ハ假差押ヲ命スル決定ヲ爲ス場合ニ於テハ敗訴者ト認ムヘキモノナキカ故ニ此決定ニ於テ訴訟費用ノ負擔ニ關スル裁判ヲ爲スヘキモノニ非ス唯假差押ノ申請ヲ却下シ若クハ假差押ヲ命スル判決ヲ爲シ又ハ假差押ヲ命スル決定ニ對スル異議ノ申立ニ基キ假差押ノ當否ニ關スル判決ヲ爲ス場合ニ限り訴訟費用ノ負擔ニ付キ裁判ヲ爲スヘキモノナリト然レトモ決定ヲ爲ス場合ト判決ヲ爲ス場合ニ付キスル區別ヲ爲スヘキ理由ナキノミナラス裁判所カ假差押ノ申請ヲ理由アリトスルト否トニ依リテ訴訟ニ於ケル勝敗ノ區別ヲ生スヘキカ故ニ此說ハ誤レリト謂フヘシ

假差押ノ申請ニ付キテハ前述ノ如ク口頭辯論ヲ經スシテ裁判ヲ爲スコトヲ得ルニ拘ラス裁判所ハ其意見ニ從ヒ口頭辯論ヲ經テ其申請ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ假差押ノ申請ニ關スル口頭辯論ハ其申請カ理由アルヤ否ヤニ付キ

之ヲ爲スヘキモノトス債権者ハ口頭辯論ニ於テ假差押ノ條件ノ存在スルコトヲ明ニスルカ爲メニ請求及ヒ假差押ノ理由ノ存在ヲ主張セサルヘカラス然レトモ單ニ之ヲ疏明セハ足レリ又債務者カ請求及ヒ假差押ノ理由ノ存在セサルコトヲ主張スルニ當リテハ單ニ之ヲ疏明スルヲ以テ足レリトス是レ既ニ述ヘタル所ナリ

假差押ノ申請ニ付キ口頭辯論ヲ爲ス場合ニ於テハ終局判決ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘキモノトス即チ此場合ニ於テハ假差押ノ申請ヲ却下スル終局判決ヲ爲シ又ハ假差押命令タル終局判決ヲ爲スヘキモノナリ(七四二此ノ如ク假差押ノ申請ニ付キ口頭辯論ヲ爲ス場合ニ於テハ終局判決ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘキモノナリト雖モ闕席判決ニ關スル規定ハ此場合ニ之ヲ適用スヘキモノト謂フヲ得ス蓋シ闕席判決ニ關スル規定ヲ適用スルニハ訴ニ基キテ判決ヲ爲スヘキ訴訟手續ノ存在スルコトヲ必要トスルヲ以テナリ然レトモ此規定ハ之ヲ此場合ニ準用スルコトヲ得ヘシ而シテ此規定ヲ此場合ニ準用セハ債権者カ口頭辯論期日ニ闕席スル場合ニ於テハ假差押ノ申請ヲ理由ナシトシテ却下スル闕席判決

ヲ爲シ又債務者カ其期日ニ闕席スル場合ニ於テハ請求及ヒ假差押ノ理由ノ疏明アリタルモノト看做シテ假差押ヲ命スル闕席判決ヲ爲スヘキ結果ヲ生スルモノナリ

假差押ノ申請ニ關スル判決ハ其申請ヲ却下スルモノト雖モ之ヲ言渡シ且ツ申立ニ依リ之ヲ當事者ニ送達スヘキモノナリ(二三三・二三八故ニ第七百四十二條第二項ノ規定ハ假差押ノ申請ヲ却下スル判決ニ關シテ其適用ヲ生セサルモノトス是レ此判決ニ對シテハ上訴又ハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘク且ツ上訴又ハ故障申立ノ期間ハ判決ヲ通知スルノ一方法タル其送達ヲ以テ始マルニ依リテ見ルモノ自ラ明ナル所ナリ

裁判所ニ於テ假差押命令ノ申請カ其要件ヲ具備セサルモノト認メ又ハ管轄權其他ノ訴訟成立條件カ存在セサルモノト認メ又ハ假差押ヲ爲スヘカラスト認メタルトキハ其申請ヲ却下スル裁判ヲ爲シ又此等ノ欠缺ナシト認メタルトキハ假差押ヲ命スル裁判即チ假差押命令ヲ爲スヘキモノトス

假差押命令ハ債務者ノ何レノ財產ニ關シテモ之ヲ發スルコトヲ得ヘク又假差

押ヲ爲スヘキ債務者ノ財產ヲ指定セスシテ之ヲ發スルコトヲ得ヘシ然レトモ本案ノ管轄裁判所ニ非サル區裁判所ノ假差押命令ハ其管轄區域内ニ存在スル債務者ノ財產ニ關シテノミ之ヲ發スルコトヲ得ルモノトス蓋シ此區裁判所ハ其管轄區域内ニ假差押ヲ爲スヘキ債務者ノ財產カ存在スル場合ニ限り假差押命令ヲ發スルコトヲ得ルモノナルヲ以テナリ

假差押ヲ爲スヘキ目的物ヲ指定シタル假差押命令ハ債務者ノ特定ノ財產ニ關シテノミ其效力ヲ生スルモノナリト雖モ假差押ヲ爲スヘキ目的物ヲ指定セサル假差押命令ハ債務者ノ何レノ財產ニ關シテモ其效力ヲ生スルモノトス假差押ヲ爲スヘキ目的物ヲ指定セサル假差押命令ニ基キ債務者ノ何レノ財產ニ對シテ假差押ヲ爲スヘキヤハ債權者カ假差押ノ執行ニ際シ其執行ヲ爲スヘキ執行裁判所又ハ執達吏ニ申出ヲ爲スニ依リテ定マルモノトス  
假差押命令ハ假差押ノ執行ノ基礎ト爲ルモノナルカ故ニ其命令ニハ裁判所ヲ表示スル外債權者及ヒ債務者ヲ表示シ且ツ請求ノ原因及ヒ金額若クハ價額ヲ表示スヘキモノトス

債權者カ假差押命令ヲ得ルカ爲メニ保證ヲ立テタルトキハ債權者ノ保證ヲ立タルコト及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルヤヲ假差押命令ニ記載スヘキモノトス(七四一四)

假差押命令ニハ債務者カ假差押ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ルカ爲メ又ハ執行シタル假差押ノ取消ヲ得ルカ爲メニ供託スヘキ金額ヲ掲クヘキモノトス是レ假差押ハ金錢ノ請求ヲ保全スルカ爲メニ之ヲ爲スモノナルカ故ニ債務者カ相當ノ金額ヲ供託シテ債權者ノ請求ヲ擔保スル限りハ假差押ノ必要ナキニ至ルカ爲メニ外ナラサルナリ(七四三)債務者ノ供託スヘキ金額ハ主タル請求及ヒ附帶ノ請求ノ金額若クハ價額及ヒ手續ノ費用ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘキモノトス若シ此金額カ少キニ失スルトキハ債權者ノ假差押ノ申請カ一部却下セラレタルトキト之ヲ同一視スヘキモノナルカ故ニ債權者ハ後ニ説明スル所ニ從ヒ上訴ヲ以テ假差押命令ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ヘタ又此金額カ多キニ失スルトキハ債務者ハ後ニ説明スル所ニ從ヒ異議ノ申立又ハ上訴若クハ故障ノ申立ヲ爲シテ假差押命令ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ヘシ又裁判所カ判決ヲ以テ假差

押ヲ命シタル場合ニ於テ此金額ヲ其假差押命令ニ掲ケサリシトキハ債務者ハ第二百四十二條ノ準用ニ依リ假差押命令タル判決ノ補充ヲ求ムルコトヲ得ヘク(四二六、二、四九一、二。五〇八參照)且ツ上訴ヲ以テ其判決ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ヘシ而シテ裁判所カ決定ヲ以テ假差押ノ命シタル場合ニ於テ此金額ヲ其假差押命令ニ掲ケサリシトキハ債務者ハ異議ノ申立ニ依リテ假差押命令タル決定ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ヘシ(七四四)

#### 第四款 假差押ノ申請ニ關スル裁判ニ

##### 對スル不服ノ申立

假差押ノ申請ニ關スル裁判ニ對スル不服ノ申立ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シタル場合ト判決ヲ以テ之ヲ爲シタル場合トニ依リ差異アルモノトス今順ヲ追フテ之ヲ説明スヘシ

假差押ノ申請ヲ却下スル決定ニ對シテハ一般ノ原則ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ蓋シ此決定ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スモノニシテ假差押ノ申請ハ訴訟手續ニ關スルモノニ外ナラサルヲ以テナリ(四五五)而シテ假差押ノ許否

ニ關スル手續ニハ強制執行手續ノ規定ヲ準用スヘキモノニ非サルカ故ニ此決定ニ對スル抗告ハ即時抗告ニ非サルヲ知ルヘシ裁判所カ債權者ノ申立ナキニ拘ラス假差押ヲ命スルカ爲メニ保證ヲ立ツヘキコトヲ債權者ニ命スル決定ヲ爲シタル場合ニ於テモ債權者ハ其決定ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ蓋シ此場合ハ假差押ノ申請カ一部却下セラレタルトキト之ヲ同一視スヘキモノナルヲ以テナリ抗告裁判所ハ假差押ノ申請ヲ却下シタル決定ニ對スル抗告ニ基キ其申請ニ關シテ口頭辯論ヲ爲シタル場合ニ於テハ既ニ述ヘタル所ニ從ヒ終局判決ヲ以テ裁判ヲ爲スヘキモノトス

債務者ハ假差押決定ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ之ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ此決定ニ對スル異議ノ申立ハ此決定ヲ爲シタル裁判所ニ之ヲ爲スヘキモノトス(七四四、一。七四五、一)故ニ抗告裁判所カ抗告ニ基キ假差押ノ申請ヲ却下スル原裁判ヲ取消シテ假差押決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ此決定ニ對スル異議ノ申立ハ抗告裁判所ニ之ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ假差押決定ニ對スル異議ノ申立ハ其取消又ハ變更ヲ求ムル唯一ノ方法ナリト謂フヘシ(七四五、二)

假差押決定ニ對スル異議ノ申立ニハ一定ノ期間ナシ然レトモ假差押決定カ效力ヲ有スル間ニ限り之ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(七四六、二。七四七)而シテ假差押カ執行セラレ又ハ債務者ヨリ假證ヲ立テタルカ爲メニ假差押ノ執行カ停止セラレ若クハ執行シタル假差押カ取消サレタル後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ヘク且ツ本案カ繫屬シタル後ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ

異議ノ申立ハ假差押決定ヲ爲シタル裁判所ニ於テ其當否ニ付キ口頭辯論ヲ經タル後判決ヲ以テ裁判ヲ爲スコトヲ要スル結果ヲ生スルモ假差押ノ執行ヲ停止スル效力ヲ有セサルナリ(七四四、三。七四五、一)

債務者カ異議ノ申立ヲ爲スニ當リテハ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ取消又ハ變更ヲ求ムルノ理由即チ假差押決定ノ取消又ハ變更ヲ求ムルノ理由ヲ開示スヘキモノトス(七四四、二)即チ債務者ハ其理由トシテ假差押ノ申請カ其要件ヲ具備セサルコト又ハ管轄權若クハ其他ノ訴訟成立條件ノ存在セサルコト又ハ請

求若クハ假差押ノ理由カ存在セサルコト又ハ假差押ノ執行ノ停止若クハ執行シタル假差押ノ取消ヲ得ルカ爲メニ債務者ノ供託スヘキ金額ヲ此決定ニ記載セサルコト又ハ此決定ニ記載セラレタル其金額ノ不當ナルコトヲ主張スヘキモノナリ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ取消又ハ變更ヲ求ムルノ理由ハ口頭辯論準備ノ爲メニノミ之ヲ開示スヘキモノトス故ニ之ヲ開示スルハ異議申立ノ要件ニ非サルナリ

假差押決定ニ對シテ異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ口頭辯論ノ爲メ當事者双方ヲ呼出スヘキモノトス(七四五、一)口頭辯論ニ於テハ此決定ノ當否即チ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ當否ニ付キ辯論ヲ爲スヘキモノナリ故ニ辯論ノ目的物ハ債權者ノ請求其モノニ非スト知ルヘシ債權者ハ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ正當ナルコトヲ明ニスルカ爲メ口頭辯論ニ於テ請求及ヒ假差押ノ理由ヲ疏明セサルヘカラス然レトモ請求及ヒ假差押ノ理由ノ存在ヲ示スヘキ事實ハ新ナル事實タルコトヲ得ヘク此事實ニ關スル疏明方法モ亦新ナル疏明方法タルコトヲ得ヘシ即チ請求及ヒ假差押ノ理由ノ存在ヲ示スヘキ事實並ニ此事

實ニ關スル疏明方法トシテ債權者ノ提出スルコトヲ得ルモノハ債權者カ差押ノ申請ヲ爲スニ際シテ提出セル事實及ヒ疏明方法ノミニ限ラサルナリ殊ニ債權者ハ假差押決定後ニ生シタル事實ヲ主張スルコトヲ得ヘク又此決定後ニ本案ニ關シ自己ニ利益ナル判決即チ其請求ヲ認ムル判決ヲ得タルトキハ此判決ヲ以テ請求ヲ疏明スルノ方法ト爲スコトヲ得ヘシ又債務者ハ口頭辯論ニ於テ異議申立ノ程度ヲ擴張スルコトヲ得ヘク且ツ假差押決定ノ取消又ハ變更ヲ求ムルノ理由トシテ異議ノ申立ヲ爲スニ際シ開示セルモノト異ル事實ヲ主張スルコトヲ得ヘシ然レトモ債務者ハ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ不當ナルコトヲ明ニスルカ爲メニノミ事實ヲ主張スヘキモノトス故ニ債務者カ債權者ノ請求ニ對シテ提出スル抗辯例ヘハ辨濟相殺更改又ハ消滅時效ハ單ニ其請求ノ疏明ヲ妨クルノ用ヲ爲スニ過キサルモノト謂フヘシ債務者ノ主張スル事實ハ單ニ之ヲ疏明セハ足レリ而シテ其疏明方法ハ異議ノ申立ヲ爲スニ際シテ開示セルモノト異ルコトヲ妨ケサルナリ

裁判所カ異議ノ申立ニ關スル口頭辯論ニ基キテ爲スヘキ裁判ハ假差押決定ノ

當否ニ關スルモノトス此裁判ハ終局判決ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノナリ即チ裁判所カ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ全部又ハ一部ノ正當ナルコトヲ認メタルトキハ終局判決ヲ以テ其假差押ノ全部又ハ一部ヲ認可シ又其假差押ノ不當ナルコトヲ認メタルトキハ終局判決ヲ以テ其取消又ハ變更ヲ言渡スヘキモノトス決定ヲ以テ命シタル假差押ノ認可、取消又ハ變更ハ假差押決定ノ認可、取消又ハ變更ニ外ナラス之ヲ要スルニ第七百四十五條ニ所謂假差押ハ命シタル假差押即チ假差押決定ヲ指スモノト謂ハサルヘカラス蓋シ異議ノ申立ハ假差押決定ノ取消又ハ變更ヲ求ムルカ爲メ之ニ對シテ爲スモノニ外ナラサルヲ以テナリ裁判所カ決定ヲ以テ命シタル假差押ヲ認可スルニ當リテハ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立ツルコトヲ條件トスルコトヲ得ヘシ即チ債權者ヲシテ保證ヲ立テシヌシテ假差押ヲ命スル決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ債權者カ保證ヲ立テサル限りハ假差押ヲ爲スコトヲ得サル旨ノ制限ヲ附シテ假差押決定ヲ認可スルコトヲ得ルモノトス又裁判所ハ債務者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立ツルコトヲ條件トシテ決定ヲ以テ命シ

タル假差押ノ取消又ハ變更ヲ言渡スコトヲ得ヘシ(七四五、二)裁判所カ決定ヲ以テ命シタル假差押ノ全部又ハ一部ヲ終局判決ヲ以テ取消シタルトキハ職權ヲ以テ之ニ假執行ノ宣言ヲ附スヘキモノトス決定ヲ以テ命シタル假差押ヲ終局判決ヲ以テ債務者ノ利益ノ爲メニ變更シタルトキハ終局判決ヲ以テ之ヲ取消シタルトキト同一視セラルヘキモノナルカ故ニ職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノナリ例へハ命シタル假差押ヲ債權者カ保證ヲ立ツルコトノ條件ヲ附シテ認可スル終局判決ヲ爲シタル場合ノ如シ(五〇一、四)

決定ヲ以テ命シタル假差押ヲ債權者カ保證ヲ立ツルコトヲ條件トシテ認可スル終局判決アリタル場合ニ於テ既ニ假差押ノ執行カ終リタルトキハ債權者カ保證ヲ立テサル限リハ第七百四十八條ノ規定ニ基キ第五百五十一條ノ規定ニ從ヒ執行シタル假差押ノ取消ヲ求ムルコトヲ得ヘシ又斯ル終局判決アリタル場合ニ於テ假差押ノ執行カ未タ終ラサルトキハ債權者カ保證ヲ立テサル限リハ第七百四十八條ノ規定ニ基キ第五百五十條ノ規定ニ從ヒ債務者ノ要求ニ依リ假差押ノ執行ヲ停止スヘキモノナルカ故ニ債權者カ保證ヲ立テサ

ルニ拘ラス債務者ノ要求ヲ顧ミシテ假差押ノ執行ヲ爲ストキハ債務者ハ第七百四十八條ノ規定ニ基キ執行裁判所ニ第五百四十四條ノ規定ニ依ル異議ヲ提出スルコトヲ得ヘシ(五五〇)又決定ヲ以テ命シタル假差押ヲ債務者カ保證ヲ立ツルコトヲ條件トシテ取消ス終局判決アリタル場合ニ於テ債務者カ保證ヲ立テタルコトヲ證スル公正證書ヲ提出シタルトキハ第七百四十八條ノ規定ニ基キ第五百五十條ノ規定ニ從ヒテ假差押ノ執行ノ停止及ヒ既ニ執行シタル假差押ノ取消ヲ爲スヘキモノトス

假差押決定ニ對スル異議ノ申立ニ付キ爲シタル終局判決ニ對シテハ一般ノ規定ニ從ヒテ上訴又ハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ  
既ニ述ヘタル所ニ反シ判決ヲ以テ假差押ノ申請ニ關スル裁判ヲ爲シタルトキハ當事者ハ之ニ對シテ上訴又ハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ故ニ控訴裁判所カ假差押ノ申請ニ付キ判決ヲ以テ始テ裁判ヲ爲シタルトキ又ハ抗告裁判所カ假差押ノ申請ヲ却下スル裁判ニ對スル抗告ニ基キ口頭辯論ヲ經テ其申請ニ付キ判決ヲ爲シタルトキハ上告ヲ提起スルコトヲ得ルモノナリ

假差押ノ申請カ決定又ハ裁判ヲ以テ却下セラレタル場合ニ於テハ債權者ハ上訴又ハ故障ノ申立ヲ爲スニ代ヘテ更ニ假差押ノ申請ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ假差押ノ申請ヲ却下スル判決カ確定シタルトキハ其判決ハ既判力ヲ有スルカ爲メ債權者ハ同一ノ事實ニ基キテ假差押命令ヲ求ムルコトヲ得サルナリ

### 第五款 不服ノ申立ニ依ラサル假差押命令 ノ取消

債權者カ訴ヲ提起スルニ先チ其請求ヲ保全スルカ爲メニ假差押ノ申請ヲ爲シ以テ假差押命令ヲ得タルトキハ債權者ノ請求ヲ爭フ債務者ハ其請求ノ存否裁判上速ニ確定スルニ付キ利益ヲ有スルモノトス故ニ本案ノ未タ繫屬セサルトキハ債務者ハ假差押裁判所ニ對スル申立ニ依リ一定ノ期間内ニ訴ヲ提起スヘキコトヲ債權者ニ命スル裁判ヲ求ムルコトヲ得ヘシ(七四六、一)此申立ハ債務者カ保證ヲ立テテ假差押ノ執行ヲ免レタルトキト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス蓋シ債務者カ其ノ立タル保證ノ必要ナキコトヲ明ニスルカ爲メニハ

債權者ノ請求ノ不存在ヲ確定スル判決ニ基キテ假差押命令ヲ取消ス判決ヲ得又ハ債權者ヨリ訴ヲ提起セサルカ爲ミニ假差押命令ヲ取消ス判決ヲ得以テ保證ヲ立ツル原因ノ消滅シタルコトヲ證セサルヘカラサルヲ以テナリ(七四六、二、七四五七。供託法八)

右ニ述ヘタル債務者ノ申立ニ關スル裁判ハ口頭辯論ヲ經シテ之ヲ爲スヘキモノトス(七四六、二)故ニ此裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノナリ裁判所カ債務者ノ申立ヲ正當トスルトキハ相當ニ定ムル期間内ニ訴ヲ提起スヘキコトヲ債權者ニ命スル決定ヲ爲スヘキモノトス此決定ハ職權ヲ以テ之ヲ債權者及ヒ債務者ニ送達スヘキモノナリ(二四五、一、三)債權者ハ此決定ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス債權者カ訴ヲ提起スヘキ期間ハ此決定ヲ債權者ニ送達スルニ依リテ其進行ヲ始ムルモノトス又此期間ハ當事者ノ合意ノ申立ニ依リ之ヲ伸縮スルコトヲ得ヘシ(一六四、一七〇)

右ニ述ヘタル所ニ反シ裁判所カ債務者ノ申立ヲ不當トスルトキハ其申立ヲ却下スル決定ヲ爲スヘキモノトス此決定ハ職權ヲ以テ債務者ニノミ之ヲ送達ス

ヘキモノトス蓋シ債權者ハ此決定ヲ知ルニ付キ利益ヲ有セサルヲ以テナリ債務者ハ此決定ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(二四五、四五五、七四六、一)債權者ノ訴ヲ提起スヘキ期間カ長キニ失スル場合ニ於テモ亦同シ蓋シ此場合ハ債務者ノ申立カ一部却下セラレタルトキト之ヲ同一視スヘキヲ以テナリ

債權者カ假差押裁判所ノ命ニ從ヒテ其ノ定メタル期間内ニ提起スヘキ訴ハ必シモ給付ノ訴タルコトヲ要セス確認ノ訴タルモ亦可ナリ然レトモ此期間内ニ債權者ノ提起セル訴カ管轄違其他ノ理由ニ依リ不適法トシテ却下セラレタルトキハ債權者ハ假差押裁判所ノ命ニ從ヒタルモノト認ムヘカラス債權者カ訴ヲ取下ケタルトキ亦同シ蓋シ假差押裁判所ハ債權者ノ請求ノ存否カ裁判上速ニ確定スルニ付キ利益ヲ有スル債務者ノ爲メ債權者ニ訴ノ提起ヲ命スルモノニシテ此等ノ場合ニ於テハ債權者ノ請求ノ存否ノ確定スル結果ヲ生セサルヲ以テナリ

債權者カ一定ノ期間内ニ訴ヲ提起スヘキ旨ノ假差押裁判所ノ命ニ從ハストスル債務者ハ命シタル假差押ヲ取消スコトヲ假差押裁判所ニ申立ツルコトヲ得

ヘシ假差押裁判所ハ此申立ニ付キ口頭辯論ヲ經タル後終局判決ヲ以テ裁判ヲ爲スヘキモノトス口頭辯論ニ於テハ債権者ハ適當ノ時期ニ訴ヲ提起シタルコトヲ疏明スヘキモノニシテ債務者ハ訴ノ取下アリタルコト又ハ訴カ不適法トシテ却下セラレタルコトヲ疏明スヘキモノナリ假差押裁判所カ債権者ニ於テ一定ノ期間内ニ訴ヲ提起スヘキ旨ノ命ニ從ハスト認メタルトキハ命シタル假差押ヲ取消ス終局判決ヲ爲スヘキモノトス而シテ債務者カ口頭辯論期日ニ闕席シタルトキハ第二百四十七條ノ規定ヲ準用シテ其申立ヲ却下スル闕席判決ヲ爲シ又債権者カ其期日ニ闕席シタルトキハ此規定ノ準用ニ依リ債権者カ適當ノ時期ニ訴ヲ提起セサルコトヲ自白シタルモノト看做シ以テ命シタル假差押ヲ取消ス闕席判決ヲ爲スヘキモノナリ命シタル假差押ヲ取消ス旨ヲ宣言スル判決ニハ假執行ノ宣言ヲ附スヘキモノトス(五〇一、四)命シタル假差押ノ取消ハ假差押命令ノ取消ニ外ナラスト知ルヘシ債務者ノ申立ニ闕スル判決ニ對シテハ一般ノ原則ニ從ヒテ上訴又ハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ルモノトス本案ノ未タ繫屬セサルトキハ債務者ハ前述ノ如ク一定ノ期間内ニ訴ヲ提起ス

ヘキコトヲ債権者ニ命センコトヲ假差押裁判所ニ申立ツルコトヲ得ルニ拘ラス此申立ヲ爲スニ代ヘテ債権者ノ請求ノ不存在ヲ確定スル判決ヲ求ムル訴ヲ提起スルコトヲ得ヘシ

假差押ノ理由カ消滅シ其他假差押命令ヲ爲ス際ニ存在セシ假差押ヲ命スルノ基礎タル事情カ變更シタルトキ又ハ債務者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立ツヘキコトヲ申出テタルトキハ判決ヲ以テ假差押ヲ命シタルト決定ヲ以テ之ヲ命シタルトヲ問ハス債務者ハ命シタル假差押ノ取消ヲ管轄裁判所ニ申立ツルコトヲ得ヘシ(七四七、一)而シテ決定ヲ以テ假差押ヲ命シタル場合ニ於テハ命シタル假差押カ異議申立後ノ手續ニ於テ認可セラレタル後ト雖モ其取消ヲ求ムルコトヲ得ルモノナリ命シタル假差押ノ取消ハ假差押命令ノ取消ニ外ナラス要スルニ第七百四十九條第一項ニ所謂假差押ノ取消ハ假差押設タルノ必要ナシト知ルヘシ債務者カ假差押命令ヲ爲ス際ニ於ケル事情ニ變

更ヲ生シタルコトヲ假差押決定ニ對スル異議申立ノ手續又ハ假差押ヲ命スル  
判決若クハ假差押決定ヲ認可セル判決ニ對スル控訴ノ手續ニ於テ主張スルコ  
トヲ得ヘキトキト雖モ前ニ述ヘタル所ニ從ヒ假差押命令ヲ爲ス際ニ於ケル事  
情ニ變更ヲ生シタルコトヲ理由トシテ假差押命令ヲ爲ス際ニ於ケル事  
ヘシ唯債務者カ一ノ方法ヲ選擇シタルトキハ同時ニ他ノ方法ヲ施用スルコト  
ヲ得ス蓋シ債務者ヲシテ同時ニ此二箇ノ方法ヲ申立ツルコトヲ得  
ナリ假差押命令ヲ爲ス際ニ於テ實際變更シタルトキハ亦假差押命令ヲ以テ  
キ又ハ其際ニ於ケル實際ノ事情カ後日發見セラレタルトキハ亦假差押命令ヲ  
爲ス際ニ存在セシ事情ニ變更ヲ生シタルモノト認ムヘキモノトス

今假差押命令ヲ爲ス際ニ於ケル假差押ヲ命スルノ基礎タル事情カ實際變更セ  
ルモノトシテ假差押命令ヲ取消ヲ求ムルコトヲ得ヘキ場合ハ左ノ如シ

(一) 假差押命令アリタル後ニ假差押ノ理由カ消滅シタルトキ

此場合ハ法律ノ例示スル所ニ係ルモノトス例ヘハ假差押命令後ニ內國ニ於  
テ強制執行ヲ爲スコトヲ得ルニ至リ又ハ債務者カ債權者ノ爲メニ抵當權ヲ

設定シテ其請求ヲ擔保シタル場合ノ如シ

(二) 假差押命令アリタル後ニ假差押ニ依リ保全セラルヘキ請求カ消滅シ又ハ

判決ニ依リテ否認セラレタルトキ

假差押ニ依リテ保全セラルヘキ請求カ假差押命令後ニ辨濟其他ノ事由ニ依  
リテ消滅シタルトキト雖モ假差押命令ハ當然其效力ヲ失フモノニ非ス然レ  
トモ此場合ニ於テハ其取消ヲ求ムルコトヲ得ヘシ又假差押ニ依リテ保全セ  
ラルヘキ請求カ假差押命令後ニ判決ニ依リテ否認セラレタルトキハ其判決  
カ未タ確定セサル場合ニ於テモ此請求ノ疏明アリタルモノト認ムヘカラサ  
ルニ至ルカ故ニ假差押命令ヲ取消ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

(三) 假差押命令アリタル後ニ債權者カ假差押ヲ求ムル權利ヲ喪失シタルトキ  
例ヘハ債權者カ此權利ヲ拋棄シ又ハ第七百四十九條第二項ニ定ムル期間ノ  
經過ニ依リテ此權利ノ消滅シタル場合ノ如シ

第七百四十七條ノ規定ニ從ヒテ假差押命令ヲ取消ヲ求ムル債務者ノ申立ハ本  
案カ繫屬スルトキハ本案ノ口頭辯論ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ債務者カ此

申立ヲ爲シタルトキハ口頭辯論ヲ經タル後終局判決ヲ以テ之ニ付キ裁判ヲ爲スヘキモノトス(七四七、二)故ニ債務者ノ申立ヲ却下シ又ハ假差押命令ヲ取消スニハ終局判決ヲ以テスヘキモノナリ口頭辯論ニ於テハ假差押命令カ正當ナルヤ否ヤニ付キ辯論ヲ爲スヘキモノニ非ス唯之ヲシテ其效力ヲ維持セシムルコトカ正當ナルヤ否ヤノミニ付キ辯論ヲ爲スヘキモノトス債務者ハ假差押命令ノ取消ノ理由タル事情ヲ疏明セサルヘカラス若シ債務者カ口頭辯論期日ニ開席シタルトキハ第二百四十七條ノ規定ヲ準用シテ其申立ヲ却下スル開席判決ヲ爲スヘキモノトス之ニ反シテ債權者カ其期日ニ開席シタルトキハ第二百四十八條ノ規定ヲ準用シテ債權者ハ債務者ノ主張ニ係ル事實ヲ自白シタルモノト看做シ債務者ノ申立ヲ理由アリト認ムヘキトキハ假差押命令ヲ取消ス開席判決ヲ爲スヘキモノナリ

債務者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立ツルコトヲ申出テテ命シタル假差押ノ取消ヲ求メタル場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ自由ナル意見ヲ以テ定メタル保證ヲ立ツヘキコトヲ債務者ニ命スル決定ヲ爲シ債務者カ之ヲ立

テタル後ニ至リテ假差押命令ヲ取消ス判決ヲ爲スカ又ハ債務者カ之ヲ立ツルコトノ條件ヲ附シテ假差押命令ヲ取消ス判決ヲ爲スヘキモノトス今此ノ如ク債務者カ保證ヲ立ツルコトヲ申出テタル場合ニ於テハ命シタル假差押ヲ取消スヘキモノト定メタル所以ハ他ナシ債務者カ保證ヲ立ツル限りハ債權者ノ請求ハ之ニ依リテ保全セラルヘキヲ以テナリ

第七百四十七條ノ規定ニ從ヒテ假差押命令ノ取消ヲ求ムル債務者ノ申立ニ付キテハ假差押ヲ命シタル裁判所又本案カ既ニ繫屬スルトキハ本案ノ裁判所裁判ヲ爲スヘキモノトス(七四七、二)而シテ本案カ上告裁判所ニ繫屬スル場合ニ於テハ第七百六十二條ノ規定ヲ準用シ本案ノ前ニ繫屬セル第一審裁判所ヲ以テ茲ニ所謂本案ノ裁判所ト認ムヘキモノトススル解釋ヲ採ルニ非スンハ本案カ上告裁判所ニ繫屬スル場合ニ於テハ上告裁判所カ事實ノ調査ヲ爲シ以テ債務者ノ申立ニ付キ裁判ヲ爲ササルヘカラサル不便ヲ生スルニ至ラン

## 第六款 假差押ノ執行

假差押ノ執行即チ其施行ハ假差押命令ノ執行ニ外ナラス假差押ノ執行ト假差押命令トノ關係ハ強制執行ト執行名義即チ執行力アル債務名義トノ關係ニ類似スルノミナラス假差押ハ強制執行ノ結果ヲ保全スルカ爲メニ之ヲ爲スモノナルカ故ニ假差押ノ執行ニ付キテハ強制執行ノ規定ヲ準用スヘキモノトス殊ニ強制執行ノ目的物ニ關スル制限ヲ定メタル規定、第五百四十四條ノ規定及ヒ第三者ノ執行異議ノ訴ニ關スル規定並ニ第五百五十條、第五百五十一條、第五百八十六條及ヒ第五百八十七條ノ規定ノ如キハ假差押ニ準用セラルモノトス唯假差押ハ強制執行ノ結果ヲ保全スルカ爲メニノミ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ差押物ノ換價及ヒ債權者ノ請求ノ辨濟ニ關スル規定ハ之ヲ假差押ノ執行ニ準用スヘカラサルモノナリ又債務者ハ假差押決定ニ對シ第七百四十四條ノ規定ニ從ヒテ異議ヲ申立ツルコトヲ得ヘク且ツ命シタル假差押ノ取消ヲ第七百四十七條ノ規定ニ從ヒテ申立ツルコトヲ得ヘキカ故ニ債務者ノ執行異議ノ訴ニ關スル規定ハ之ヲ假差押ノ執行ニ準用スヘカラサルモノトス而シテ假差押ノ執行ニ付キ別段ノ規定アルトキハ強制執行ノ規定ヲ之ニ準用スヘカラサ

### ルモノナリ(七四八)

假差押ノ執行ニ付キ特ニ説明ヲ爲スヘキモノハ左ノ如シ

- (一)假差押命令ハ直ニ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ是レ此命令ハ其執行タル假差押其モノヲ許スモノナルノミナラス此命令ヲ言渡シ又ハ之ヲ債權者ニ送達シタル日ヨリ十四日ヲ経過セハ其執行ヲ爲スコトヲ得サルカ爲メ速ニ其執行ヲ爲スノ必要アルト此命令ヲ債務者ニ送達スル前ニ於テモ其執行ヲ爲スコトヲ得ルトニ依リテ自ラ明ナル所ナリ(七四九、三故ニ判決ヲ以テ假差押ヲ命シタル場合ニ於テモ其確定ヲ待タス每ニ其執行ヲ爲スコトヲ得ルモノトス從テ假差押ヲ命シタル判決ノ確定前ニ其執行ヲ爲スコトヲ得セシムルカ爲メニ假執行ノ宣言ヲ爲スノ必要ハ之ナシト謂フヘシ
- (二)假差押命令ハ之ニ執行文ヲ附記スルコトヲ要セスシテ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ蓋シ假差押命令ハ其執行タル假差押其モノヲ爲スヘキコトヲ命スルモノナルカ故ニ其執行ニ必要ナル條件ノ存在スルコトハ假差押命令ノ存在ニ依リテ自ラ明ナルカ爲メ執行文ヲ以テ斯ル條件ノ存在ヲ證明スル必要

ナキヲ以テナリ然レトモ假差押命令ヲ發シタル後債權者又ハ債務者ニ承繼アル場合ニ於テハ之ニ執行文ヲ附記スルコトヲ要スルモノトス蓋シ執行機關ヲシテ債權者又ハ債務者ニ承繼アルコトヲ調査セシムヘカラサルカ爲メ裁判長カ債權者又ハ債務者ニ承繼アルコトヲ證明セシムニ基キ裁判所書記カ假差押命令ニ執行文ヲ附記スルニ依リテ債權者又ハ債務者ニ承繼アリタルコトヲ證明スルノ必要アルヲ以テナリ(五一六、二。五二〇。七四九、一)

(三)假差押命令ハ之ヲ言渡シ又ハ申立人タル債權者ニ之ヲ送達シタル日ヨリ十四日ノ期間ヲ經過スルトキハ之ヲ執行スルコトヲ得サルニ至ルモノトス(七四九、二)是レ假差押ヲ命シタル際ニ於ケル事情ニ變更ヲ生シ最早之ヲ爲スノ必要ナキニ拘ラス之ヲ爲ス結果ヲ生スルコトヲ防クカ爲メニ外ナラサルナリ故ニ假差押命令ノ執行ハ一定ノ期間内ニ制限セラルモノト謂フヘシ債權者カ前述ノ期間ノ經過前三假差押命令ノ執行ヲ求メタルトキト雖モ其執行ヲ爲スマテニ前述ノ期間カ經過シタルトキハ最早其執行ヲ爲スコトヲ得サルニ至ルモノトス唯此期間内ニ假差押ノ爲メ或強制處分ヲ始メタルト

キハ其經過後ニ於テモ之ヲ續行スルコトヲ得ヘシ之ヲ要スルニ前述ノ期間ノ經過後ニハ假差押ノ爲メ新ニ強制處分ヲ始ムルコトヲ得サルモノナリ此期間ノ經過後タルニ拘ラス假差押命令ノ執行ヲ爲ストキハ債務者ハ第七百四十八條ノ規定ニ基キ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒテ執行裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ此期間ハ當事者ノ合意ノ申立ニ依リ之ヲ伸長スルコトヲ得ヘシ(一七〇)

假差押命令ノ執行ノ爲メニ存スル期間カ經過スルモ假差押命令ハ當然其效力ヲ失フモノニ非ス然レトモ此期間カ經過シタルトキハ債務者ハ第七百四十七條ノ規定ニ從ヒテ假差押命令ノ取消ヲ求ムルコトヲ得ヘシ

前述ノ期間ノ經過ニ依リ假差押命令ノ執行ヲ爲スコトヲ得サルニ至リタルトキハ債權者ハ更ニ假差押命令ヲ求ムルコトヲ得ヘシ

(四)假差押命令ノ執行ハ債務者ニ其送達ヲ爲ス前ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七四九、三)是レ假差押命令ヲ債務者ニ送達スルト同時ニ又ハ其後ニ假差押命令ノ執行ヲ爲スヘキモノトセハ前號ニ掲ケタル期間内ニ其執行ヲ爲スコ

ト能ハサルニ至ル場合アルノミナラス假差押ノ執行ハ迅速ヲ要スルカ爲メナリ

(五)假差押ノ執行ハ金錢ノ請求ノ爲ミニスル強制執行ト同ク假差押ヲ爲スヘキ目的物ノ如何ニ依リ執達吏又ハ執行裁判所之ヲ爲スモノトス即チ假差押ヲ爲スヘキ目的物カ有體動產ナルトキハ執達吏假差押ヲ執行シ假差押ヲ爲スヘキ目的物カ不動產船舶又ハ債權其他ノ財產權ナルトキハ執行裁判所假差押ノ執行ヲ爲スヘキモノトス而シテ如何ナル裁判所カ執行裁判所ナルカハ別段ノ規定アル場合ノ外強制執行ノ規定ニ從ヒテ定マルモノトス(五九五。六二五。六四一。七五〇。二)

(六)動產ニ對スル假差押ノ執行ハ之ニ對スル強制執行ト同一ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スヘキモノトス(七五〇、一)然レトモ左ニ掲タル差異アリ

(イ)假差押ノ目的物タル金錢ハ之ヲ債權者ニ引渡スコトヲ得ス唯之ヲ供託スヘキノミ又假差押物ノ競賣及ヒ假差押ニ係ル有價證券ノ換價ハ之ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ假差押物カ著ク價額ノ減少ヲ來ス恐アルトキ又ハ

其貯藏ニ付キ不相應ノ費用ヲ要スルトキハ執行裁判所ハ債權者又ハ債務者ノ申立ニ依リ其物ヲ競賣シテ賣得金ヲ供託スヘキ旨ヲ執達吏ニ命スルコトヲ得ヘシ(七五〇、四)

(ロ)債權ノ假差押ニ付キテハ第三債務者ニ對シテ債務者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ禁スル命令ノミヲ爲スヘキモノトス(七五〇、三)故ニ取立命令又ハ轉付命令ヲ發スルコトヲ得サルナリ假差押ノ爲ミニスル債權差押命令ハ債權者ノ申立ニ依リ假差押命令ト之ヲ併合スルコトヲ得ヘシ蓋シ債權ノ假差押ニ付キ管轄權ヲ有スル執行裁判所ハ次ニ説明スルカ如ク假差押裁判所ナルヲ以テナリ

債權ノ假差押ニ付キテハ假差押命令ヲ發シタル裁判所ヲ以テ管轄執行裁判所トス(七五〇、二)故ニ本案ノ管轄裁判所カ假差押命令ヲ發シタル場合ニ於テハ區裁判所ニ非サル裁判所カ債權ノ假差押ニ付キ管轄執行裁判所タル場合アリト謂フヘシ執行裁判所ノ管轄ニ關スル此規定ハ債權ニ非サル財產權カ假差押ノ目的物タル場合ニ於テモ其適用ヲ見ルモノトス蓋シ此

財産權ニ對スル強制執行ニハ債權ニ對スル強制執行ノ規定ヲ準用スヘキモノニシテ假差押ノ執行ニハ強制執行ノ規定ヲ準用スヘキモノナルヲ以テナリ(六二五.七四八.七六二)

有體動產ニ對スル假差押ノ執行ヲ爲シタル後強制執行ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタルトキ即チ強制執行ノ條件カ悉ク存在スルニ至リタルトキハ假差押ノ執行ノ爲メニ爲シタル差押ヲ基礎トシテ強制執行ノ爲メニ必要ナル手續ヲ續行スヘキモノトス故ニ假差押ノ執行ノ爲メ既ニ差押ヘタル有體動產ハ特ニ強制執行ノ爲メニ之ヲ差押フルコトヲ要セサルナリ之ニ反シテ假差押ノ執行ノ爲メ債權ヲ差押ヘタルトキハ強制執行ノ爲メ更ニ其差押ヲ爲スヘキモノトス蓋シ債權ノ假差押ノ爲メニスル債權差押命令ト強制執行ノ爲メニスル債權差押命令トハ其內容ヲ異ニスルヲ以テナリ

(七)不動產ニ對スル假差押ノ執行ハ不動產登記簿ニ假差押命令ヲ記入スルニ依リテ之ヲ爲スヘキモノナリ(七五一)其記入ハ執行裁判所ニ於テ債權者ノ申立ニ依リ之ヲ登記所ニ囑託スヘキモノトス(六五一)蓋シ假差押命令ヲ不動產

登記簿ニ記入スルハ不動產ニ對スル假差押ノ執行ニシテ其執行ニハ強制執行ノ規定ヲ準用スヘキモノナルカ故ニ執行裁判所ニ於テ之ヲ爲スヘキモノト謂フヘク且ツ假差押ノ執行ヲ爲スヘキヤ否ヤ及ヒ如何ナル方法ニ依リテ之ヲ執行スヘキヤハ債權者カ其意思ニ從ヒテ之ヲ決スヘキモノタルノミナラス假差押命令ニ於テ假差押ノ目的物ヲ指定セサルトキハ債權者ニ於テ其指定ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ債權者ノ申立ヲ待タス不動產ニ對スル假差押ノ執行トシテ前述ノ囑託ヲ爲スヘキモノニ非サルヲ以テナリ然レトモ假差押裁判所カ同時ニ執行裁判所タル場合ニ於テハ債權者ノ申立アル限りハ假差押命令ヲ發スルト同時ニ其記入ヲ登記所ニ囑託スヘキモノトス  
不動產ニ對スル假差押ノ執行ハ假差押命令ヲ不動產登記簿ニ記入スルニ依リテ之ヲ爲ス外債權者ノ申立ニ依リ其執行トシテ尙ホ強制管理ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(六四〇.三)不動產ニ對スル假差押ノ執行トシテ強制管理ヲ爲ス場合ニ於テハ保全スヘキ請求ニ相當スル範圍内ニ於テ不動產ノ收益タル天然果實又ハ法定果實ヲ收取シ其果實カ金錢ニ非サルトキハ之ヲ換價シテ

一切ノ金額ヲ供託スヘキモノトス(七五二)而シテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタルトキ即チ強制執行ノ條件カ悉ク存在スルニ至リタルトキハ更ニ強制管理決定ヲ爲スコトヲ要セス直ニ供託金ヲ債権者ニ引渡シ且ツ強制管理ヲ續行スヘキモノトス

(八)船舶ニ對スル假差押ノ執行ハ假差押ノ當時船舶ノ碇泊スル港ニ之ヲ碇泊セシムルニ依リテ之ヲ爲スヘキモノナリ故ニ執行裁判所ハ債権者ノ申立ニ依リ假差押ノ執行トシテ其目的物タル船舶ヲ假差押ノ當時碇泊スル港ニ碇泊セシムヘキコトヲ命スヘキモノトス茲ニ所謂假差押ノ當時トハ假差押ヲ命スル際ノ謂ニ非シテ假差押ヲ執行スル際ノ謂ニ外ナラサルナリ執行裁判所ハ船舶ニ對スル假差押ノ執行ニ際シ又ハ其後ニ債権者ノ申立ニ依リ船舶ノ監守及ヒ保存ノ爲メ必要ナル處分ヲ爲スヘキモノトス(七五三)

(九)執行シタル假差押ノ取消ハ左ノ場合ニ於テ執行裁判所ノ裁判ヲ以テ之ヲ發航ノ準備ヲ終リタル船舶ニ對シテハ假差押ヲ爲スコトヲ得ス但シ其船舶カ發航ヲ爲ス爲メニ生シタル債務ニ付テハ此限ニ在ラス(商五四三)

### 命スルモノトス

(イ)債務者カ執行シタル假差押ノ取消ヲ得ルカ爲メニ供託スヘキ金額ヲ供託シテ其取消ヲ求ムル申立ヲ爲シタルトキハ執行裁判所ハ其取消ヲ命スル裁判ヲ爲スヘキモノトス債務者カ供託ヲ爲シタルコトハ之ヲ疏明スヘキモノナリ(七五四、一、二)

右ニ述ヘタル規定ニ依レハ債務者カ執行シタル假差押ノ取消ヲ得ルカ爲メニ供託スヘキ金額ヲ供託シテ其取消ヲ得ルニハ毎ニ其取消ヲ命スル裁判ヲ求ムヘキモノト謂フヘシ

(ロ)假差押ノ執行ヲ續行スルニ付キ特別ノ費用ヲ要スル場合ニ於テ債権者カ之ヲ豫納セサルトキハ執行裁判所ハ職權ヲ以テ執行シタル假差押ノ取消ヲ命スル裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七五四、二)

右ニ述ヘタル所ニ從ヒテ執行シタル假差押ノ取消ヲ命スル裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ故ニ此裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス(七五四、三四)而シテ口頭辯論ヲ經スシテ此裁判ヲ爲シタル場合ニ於テ

ハ之ヲ送達スヘキモノナリ(二四五)

一五八二

執行シタル假差押ノ取消ヲ命スル前述ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七五四、四)此決定ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナルカ故ニ第五百五十八條及ヒ第七百四十八條ノ規定ニ從ヒ之ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノト謂ハサルヘカラス然ルニ第七百五十四條第四項ニ於テ執行シタル假差押ノ取消ヲ命スル決定ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ特ニ規定セルニ依リテ之ヲ見レハ此決定ニ對シテノミ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘク執行シタル假差押ノ取消ヲ命スル決定ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルヤ否ヤハ一カラサルナリ而シテ此決定ニ對シ通常ノ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノト解セサルヘ一般ノ原則ニ從ヒテ之ヲ定ムヘキモノトス即チ此決定ハ口頭辯論ヲ經サルトキニ限り之ニ對シテ通常ノ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(四五五)。

執行シタル假差押ノ取消ヲ命スル決定ニ對スル即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有セサルカ故ニ此決定ハ即時抗告ノ提起セラレタルトキト雖モ直ニ執行

セラルヘキモノトス但シ執行裁判所又ハ抗告裁判所カ第四百六十條ノ規定ニ從ヒ執行中止ヲ命シタルトキハ此限ニ在ラサルナリ

執行シタル假差押カ其取消ヲ命スル決定ニ基キテ取消サルルモ假差押命令ハ依然トシテ其效力ヲ有スルモノトス若シ債務者カ假差押命令ノ取消ヲ求メントセハ第七百四十四條ノ規定ニ從ヒテ異議ノ申立ヲ爲シ又ハ第七百四十六條若クハ第七百四十七條ノ規定ニ從ヒテ其取消ヲ求ムル申立ヲ爲ササルヘカラス而シテ執行シタル假差押カ取消サレタルニ拘ラス假差押命令カ基キテ更ニ假差押ノ執行ヲ爲スコトヲ得ヘキカ故ニ債務者ハ假差押命令ノ取消ヲ求ムルニ付キ利益ヲ有スルモノト謂フヘク又其ノ立テタル保證ノ必要ナキコトヲ明ニスルカ爲メニハ假差押命令ノ取消ヲ求ムル必要アリト謂フヘシ

### 第三節 假處分手續

## 第一款 汎論

一五八四

假處分トハ金錢ノ支拂ヲ目的トセサル請求ノ爲メニスル強制執行ノ結果ヲ保全スルカ爲メ係争物ニ關シテ爲ス強制處分又ハ爭アル法律關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムルカ爲メ其法律關係ニ關シテ爲ス強制處分ヲ謂フ故ニ假處分ニハ二種類アリト謂フヘク且ツ其種類ノ如何ヲ問ハス假差押ノ如ク債權者ヲシテ後日債務者ノ財產ニ付キ請求ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得セシムルカ爲メニ之ヲ爲スモノニ非スト謂フヘシ

金錢ノ支拂ヲ目的トセサル請求ノ爲メニスル強制執行ノ結果ヲ保全スルカ爲メニ係争物ニ關シテ爲ス假處分ハ斯ル請求ヲ保全スルコトヲ目的トスルモノニ外ナラス此假處分ハ係争物ノ現狀ノ變更ニ依リ當事者ノ一方カ權利ノ實行ヲ爲スコト能ハス又ハ之ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アル場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(七五五茲ニ所謂係争物トハ當事者ノ一方ノ主張ニ係ル請求ノ目的ヲ指スモノトス而シテ其目的ノ有體物タルト否トヲ問ハサルナ

リ又係争物ノ現狀ノ變更トハ係争物ニ付キ從來存在セル狀態ノ變更ヲ指スモノトス

假處分ニ依リテ保全セラルヘキ請求ハ金錢ノ債權ニ非サルカ故ニ此債權ノ目的ニ非サル行爲タル物ノ引渡又ハ其他ノ行爲ヲ目的トスルモノナラサルヘカラス而シテ其請求カ民事訴訟ノ目的物タルコトヲ得ヘキモノタルヲ要スルハ論ヲ待タサルナリ然レトモ其請求ハ第七百四十六條及ヒ第七百五十六條ノ規定ニ依リテ自ラ明ナルカ如ク現ニ繫屬スル訴訟ノ目的物タルコトヲ必要トセス且ツ其請求ハ財產權上ノ請求タルコトヲ必要トセサルナリ例ヘハ幼者ノ引渡ヲ求ムル請求ノ如キ親族法上ノ請求タルコトヲ妨ケサルナリ此點ニ付キテハ假差押ニ限附又ハ停止條件附ノ請求タルコトヲ必要トセサルナリ

關スル説明ヲ參照スヘシ(七三七、七五六)

係争物ノ現狀ノ變更ニ依リテ債權者カ其權利ノ實行ヲ爲スコト能ハス又ハ之ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スルノ恐アル事情ハ請求ヲ保全スヘキ假處分ノ理由ナリ斯ル事情ハ債務者ノ引渡スヘキ物ノ滅失若クハ毀損ヲ來シ又ハ其所在カ不

明ト爲ルニ依リ又ハ債務者カ其物ニ付キ法律上ノ處分(例)ヘハ讓渡若クハ擔保物權ノ設定ヲ爲スニ依リ斯ル結果ヲ生スル恐アルカ如キ場合又ハ或行爲ヲ爲スヘキ債務者ノ逃亡ニ依リ斯ル結果ヲ生スル恐アルカ如キ場合ニ於テ存在スルモノトス外國ニ於テ強制執行ヲ爲スニ至ルヘキ場合ニ於テハ毎ニ斯ル結果ヲ生スル恐アリト認ムルコトヲ得ス唯實際ノ事情ニ從ヒテ其存否ヲ定ムヘキノミ

争アル法律關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムルカ爲メ其法律關係ニ關シテ爲ス假處分ハ其法律關係ニ關シテ一時ノ狀態ヲ定ムルモノニ外ナラス例ヘハ占有權ニ付キ爭アル場合ニ於テ當事者ノ一方ヲシテ一時占有ヲ爲スコトヲ得セシメ又ハ鄰地ノ所有者カ建物ヲ築造スルニ當リ民法第二百三十四條ノ規定ニ違反シタルヤ否ヤニ付キ爭アル場合ニ於テ一時其築造ヲ差止メ又ハ通行權ニ付キ争アル場合ニ於テ一時通行ヲ爲スコトヲ許シ又ハ扶養義務ニ付キ爭アル場合ニ於テ當事者ノ一方ヲシテ一時他ノ一方ヲ扶養セシムルカ如キ是ナリ此ノ如ク此假處分ハ争ニ係ル法律關係ニ關シテ一時ノ狀態ヲ定ムルモノナルカ故ニ斯

ル法律關係ニ關シテ當事者ノ一方ニ繼續的ノ行爲ヲ命スルハ此假處分ノ方法タルコトヲ得ヘシト雖モ其一方ニ一時的ノ行爲ヲ命スルハ此假處分ノ方法タルコトヲ得サルナリ例ヘハ代金支拂ノ義務ニ付キ争アル場合ニ於テ買主ヲシテ假ニ代金ノ支拂ヲ爲サシムルカ如キハ此假處分ノ方法タルコトヲ得サルカ如シ  
争アル法律關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムルコトヲ目的トスル假處分ハ争アル法律關係ニ關シテ一時ノ狀態ヲ定ムルモノナルカ故ニ其假處分ノ目的物ハ争ニタルコトヲ得ヘシ今或法律關係カ他人ノ行爲ニ依リテ侵害セラル場合ニ於テモ亦其法律關係ハ争ニ係ルモノト認ムルコトヲ得ルモノトス又此假處分ハ争アル法律關係ニ付キ一時ノ狀態ヲ定ムルモノニ外ナラスシテ一ノ狀態ハ繼續的ノ性質ヲ有スルモノナルカ故ニ此假處分ノ目的物ハ多少繼續スル法律關係ナラサルヘカラス而シテ此假處分ノ目的物タル法律關係カ民事訴訟ノ目的物タルコトヲ得ヘキモノタルヲ要スルハ勿論ナリ然レトモ此假處分ノ目的物ハ現ニ繫屬スル訴訟ノ目的物タルコトヲ必要トセス是レ第七百四

十六條及ヒ第七百五十六條ノ規定ニ依リテ自ラ明ナル所ナリ又此假處分ノ目的物ハ財產權上ノ法律關係タルコトヲ必要トセス且ツ當事者間ノ法律關係タルコトヲ必要トセサルナリ

第七百六十條ノ規定ニ依レハ爭アル法律關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムルコトヲ目的トスル假處分ハ繼續スル法律關係ニ付キ著シキ損害ヲ避ケ若クハ急迫ナル強暴ヲ防クカ爲メ又ハ其他ノ理由ニ依リ必要ナル場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス第七百六十條ニ列舉セル特別ノ事情ハ法律カ此假處分ノ理由ヲ例示セルモノニ外ナラス之ヲ要スルニ此假處分ハ事情ニ從ヒテ必要アル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス此假處分ヲ爲スコトヲ必要ト認メシムヘキ事情ハ即チ此假處分ノ理由ナリ

爭アル法律關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムルコトヲ目的トスル假處分ハ事情ニ從ヒ必要アル場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナルカ故ニ裁判所ハ自由ナル意見ヲ以テ此假處分ノ必要ノ有無ヲ決スヘキモノト謂フヘシ今繼續スル法律關係ニ關シテ法律ノ例示スルカ如ク著シキ損害ヲ避ケ又ハ急迫ナル強暴ヲ防

クカ爲メニ假處分ヲ爲スノ必要アルトキハ毎ニ此假處分ヲ爲スコトヲ得ルモノトス例ヘハ或組合員カ業務執行ノ權利ヲ有スルヤ否ヤニ付キ爭アル場合ニ於テ其業務ノ執行ヲ差止ムル必要アルトキ又ハ保管義務ノ有無ニ付キ争アル場合ニ於テ當事者ノ一方ニ物ノ保管ヲ命スル必要アルトキ又ハ扶養義務ノ有無ニ付キ争アル場合ニ於テ當事者ノ一方ヲ扶養スヘキコトヲ他ノ一方ニ命スル必要アルトキハ繼續スル法律關係ニ付キ著シキ損害ヲ避ケルカ爲メ假處分ヲ爲スノ必要アリトシテ此等ノ處分ヲ爲スコトヲ得ヘク又占有權若クハ地役權ノ行使ヲ妨害スル者アル場合ニ於テ其行使ニ關スル適當ノ處分ヲ命スル必キアルトキ又ハ隣地ノ所有者カ境界線ノ近傍ニ於テ建物ノ築造ニ著手スルニ當リ民法第二百三十四條ノ規定ニ違反スルヤ否ヤニ付キ争アル場合ニ於テ其築造ノ差止若クハ續行ヲ命スル必要アルトキ又ハ或商標ヲ使用スル者カ其使用ノ權利ヲ有スルニ當リ其發賣ヲ禁止スル必要アルトキハ繼續スル法律關係ニ付キ急迫ナル強暴ヲ防クカ爲メ假處分ヲ爲スノ必要アリトシテ此等ノ處分ヲ爲

## 第二款 假處分命令及ヒ假處分ノ執行

假處分命令ニ關スル手續及ヒ假處分ノ其他ノ手續ニ付キテハ假差押命令ニ關スル手續及ヒ假差押ノ其他ノ手續ニ關スル規定ヲ準用スヘキモノトス但シ別段ノ規定アルトキハ此限ニ在ラス(七五六)

右ニ述ヘタル所ニ依レハ假差押手續ニ關スル説明ハ法律ノ規定ニ依リ差異ノ

生セサル限りハ假處分手續ニ應用セラルモノト知ルヘシ假處分手續ニ付キ

特ニ説明ヲ爲スヘキモノハ左ノ如シ

(一)假處分命令ヲ發スヘキ裁判所ハ本案ノ管轄裁判所ナリ然レトモ係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ハ後ニ説明スルカ如ク急迫ナル場合ニ限り假處分命令ヲ發スルコトヲ得ルモノトス故ニ假處分ノ申請ハ通常本案ノ管轄裁判所ニ之ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ(七五七、二)

(二)本案ノ管轄裁判所ハ急迫ナル場合ニ於テハ假處分ノ申請ニ付キ口頭辯論

ヲ經スシテ裁判ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(七五七、二)本案ノ管轄裁判所カ假處分ノ申請ニ付キ口頭辯論ヲ命シタル場合ニ於テハ判決ヲ以テ其裁判ヲ爲シ口頭辯論ヲ命セサル場合ニ於テハ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘキモノトス(七四二)假處分ノ申請ニ關スル判決ニ對シテハ上訴又ハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ而シテ假處分ヲ命スル決定ニ對シテハ假處分裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘク(七四四)又假處分ノ申請ヲ却下スル決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(四五五、七四二)

(三)裁判所ハ其意見ニ從ヒ假處分ノ目的ヲ達スルニ必要ナル處分ヲ定ムヘキモノトス(七五八、一)是レ假處分ニ依リテ保全セラルヘキ請求又ハ假處分ヲ以テ爭アル法律關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムルニ依リ保護セラルヘキ當事者ノ利益ハ一樣ナラサルヲ以テナリ故ニ假處分命令ノ内容ハ裁判所ノ意見ニ從ヒテ之ヲ定ムヘキモノト謂フヘシ然レトモ其内容ハ假處分ノ目的ヲ達スルニ必要ナルモノナラサルヘカラサルハ勿論之ニ必要ナル程度ヲ越ユヘカラサルモノトス故ニ假處分命令ニ於テハ請求又ハ法律關係ノ存在ヲ確定スル

裁判ヲ爲スヘキモノニ非ス且ツ直接ニ強制執行ノ目的ヲ達スヘキ處分ヲ命スヘキモノニ非サルナリ之ヲ要スルニ假處分命令ノ内容ハ裁判所カ此制限内ニ於テ假處分ノ目的ヲ達スルニ必要ナリト認ムル所ニ從ヒ之ヲ定ムヘキモノニシテ債權者ノ申立ノ趣旨ニ拘束セラルモノニ非ス就中裁判所ハ前述ノ制限内ニ於テ假處分ノ方法トシテ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ債權者ニ或行爲ヲ爲スコトヲ許シ又ハ保管人ヲシテ係争物ノ保管ヲ爲サシムヘキコトヲ命シ又ハ債務者ニ或行爲ヲ命シ若クハ之ヲ禁シ又ハ之ニ給付ヲ命スルコトヲ得ヘシ而シテ裁判所カ假處分命令ニ於テ債務者カ不動産ヲ讓渡シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ禁スルヲ得ルハ法文上明ナル所トス(七五八、二、三、四)金錢ノ債權即チ金錢ノ請求ノ爲メニスル強制執行ノ結果ヲ保全スルコト密接ノ關係ヲ有スル假差押手續ノ規定ハ之ヲ假處分手續ニ準用スヘカラサルモノトス故ニ第七百四十三條及ヒ第七百五十四條ノ規定ハ之ヲ假處分手續ニ準用スヘカラサルノミナラス第七百四十五條第二項ノ規定ヲ準用シ保證ヲ立ツルコトヲ條件トシテ假處分命令ノ變更又ハ取消ヲ言渡スコトヲ

得ス且ツ第七百四十七條第一項ノ規定ヲ準用シ債務者カ保證ヲ立ツルコトヲ申出テタルノ故ヲ以テ假處分命令ノ取消ヲ爲スコトヲ得ルモノニ非サルナリ

右ニ述ヘタル假差押手續ノ規定ハ之ヲ假處分手續ニ準用スヘカラスト雖モ特別ノ事情アルトキハ保證ヲ立テシメテ假處分ノ取消ヲ許スコトヲ得ヘシ(七五九)即チ此場合ニ於テハ假處分命令ニ於テ債務者カ保證ヲ立ツルトキハ執行シタル假差押ヲ取消スヘキ旨ヲ宣言スルコトヲ得ルモノミナラス(七四三、七五六)命シタル假處分即チ假處分命令ヲ債務者カ保證ヲ立ツルコトヲ條件トシテ取消スコトヲ得ルモノトス(七五九)故ニ債務者カ假處分ヲ命スル決定ニ對シ異議ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テ特別ノ事情アルトキハ裁判所ハ債務者カ保證ヲ立テタル後其命令ヲ取消ス判決ヲ爲シ又ハ債務者ヲ申出テテ假差押命令ノ取消ヲ求メタル場合ニ於テ特別ノ事情アルトキハ裁判所ハ債務者カ保證ヲ立テタル後其命令ヲ取消ス判決ヲ爲シ又ハ債務者

カ保證ヲ立ツルコトノ條件ヲ附シテ其命令ヲ取消ス判決ヲ爲スヘキモノトス(七四七。七五六)此等ノ處置ヲ爲スコトヲ適當ト認ムヘキ特別ノ事情アルヤ否ヤハ裁判所ノ自由ノ意見ニ從ヒテ之ヲ決スヘキモノナリ

(五)假處分ノ執行即チ其施行ハ假差押ノ執行ニ關スル規定ヲ準用シテ之ヲ爲スヘキモノナリト雖モ其方法ハ假處分命令ノ内容ニ依リテ異ルモノトス例ヘハ裁判所カ假處分命令ニ於テ保管人ヲシテ物ノ保管ヲ爲サシムルコトヲ命シタルトキハ執達吏ハ第七百三十條及ヒ第七百三十一條ノ規定ニ從ヒ保管人ヲシテ其物ノ占有ヲ爲サシムルニ依リテ假處分ノ執行ヲ爲シ(七四八。七五六)又其命令ニ於テ債務者ニ或行爲ヲ命シ若クハ之ヲ禁シ又ハ給付ヲ命シタル片ハ之ヲ債務者ニ送達スルニ依リテ同時ニ假處分ノ執行ヲ爲スヘキカ如シ唯假處分命令ニ於テ債務者カ不動産ヲ讓渡シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ禁シタル場合ニ付キテハ第七百五十八條第二項ニ於テ假處分ノ執行ニ付キ別段ノ規定ヲ設ケタリ此規定ニ依レハ執行裁判所ハ債權者ノ申立ニ依リ第七百五十一條ヲ準用シテ登記簿ニ其禁止ノ記入ヲ爲サシムルニ依リテ

#### 假處分ノ執行ヲ爲スヘキモノトス

(六)急迫ノ場合ニ於テハ係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ハ假處分命令ヲ發スルコトヲ得ヘシ而シテ本案カ未タ繫屬セサルト否トヲ問ハサルナリ(七六一、一)茲ニ所謂急迫ナル場合トハ本案ノ管轄裁判所ニ假處分ノ申請ヲ爲サハ之カ爲メニ遲滯ヲ來シ假處分ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至ルヘキ恐アル場合ヲ謂フ故ニ本案ノ管轄裁判所カ區裁判所ト同一ノ地ニ在ルトキハ通常急迫ナル場合ノ存在スルモノト認ムヘカラサルナリ急迫ナル場合ノ存在スルヤ否ヤハ區裁判所カ自由ノ意見ヲ以テ之ヲ定ムヘキモノトス故ニ區裁判所ノ發シタル假處分命令ハ急迫ナル場合ニ非サルノ理由ヲ以テ之ヲ攻擊スルコトヲ得ス之ニ反シテ假處分命令ヲ急迫ナル場合ニ非サルノ理由ヲ以テ之ヲ攻擊スルコトヲ得ヘシ然レトモ後ニ説明スル所ニ依リテ本案ノ管轄裁判所カ之ヲ認可シタルトキハ管轄權ノ欠缺ハ補正セラルルニ至ルモノトス蓋シ本案ノ管轄裁判所ハ假處分命令ヲ發スルニ付キ管轄權ヲ有スルモノナルヲ

以テナリ

一五六

\*係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ハ假處分ノ申請ニ付キ口頭辯論ヲ經シテ裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七六一、三)而シテ其申請ニ關スル裁判ハ口頭辯論ヲ經タル場合ニ於テモ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノニ非ス凡ソ判決ハ口頭辯論ヲ必要トスル場合ニ於テ口頭辯論ニ基キ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ第七百四十二條第一項ノ規定ハ此原則ニ對スル例外的規定ナリト謂ハサルヘカラス而シテ區裁判所カ假處分ノ申請ニ付キ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ關シテハ斯ル例外的規定存在セサルナリ又區裁判所ノ發シタル假處分命令ノ當否ニ付キテハ債權者ノ申立ニ依リ本案ノ管轄裁判所裁判ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ若シ區裁判所カ判決ヲ以テ假處分ノ申請ニ關スル裁判ヲ爲スヘキモノトセハ一ノ裁判所ハ上訴ノ提起ナキニ拘ラス他ノ裁判所ノ判決ノ當否ヲ調査スル結果ヲ生スルニ至ルヘク此結果タルヤ一般ノ原則ト相容レサルモノト謂ハサルヘカラス是レ前述ノ如ク係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ハ毎ニ決定ヲ以テ假處分ノ申請ニ

付キ裁判ヲ爲スヘキモノト謂フ所以ナリ

係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所カ假處分ヲ命スヘカラスト認メタルトキハ債權者ノ申請ヲ却下スル裁判ヲ爲スヘキモノトス此裁判ニ對シテハ口頭辯論ヲ經サル場合ニ限り抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(四五五)又債權者ハ此裁判アリタル後ト雖モ本案ノ管轄裁判所ニ假處分ノ申請ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ

右ニ述ヘタル所ニ反シ係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所カ假處分ヲ命スヘキモノト認メタルトキハ假處分命令ノ當否ニ關スル口頭辯論ノ爲メ相手方テハ命シタル假處分即チ假處分命令ノ當否ニ關スル口頭辯論ノ爲メ相手方タル債務者ヲ呼出スコトヲ債權者ヨリ本案ノ管轄裁判所ニ申立ツヘキ期間ヲ定ムヘキモノナリ(七六一、一)假處分命令ニ此期間ノ定ナキトキト雖モ其效力ノ生スルノ妨ト爲ラサルモノトス而シテ係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所カ此期間ノ定ナキ假處分命令ヲ發シタル場合ニ於テハ後日債務者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ更ニ此期間ヲ定ムル決定ヲ爲スコトヲ得ヘシ

係争物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ發シタル假處分命令ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得サルノミナラス此區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス蓋シ其假處分命令ノ當否ニ付キテハ本案ノ管轄裁判所裁判ヲ爲スヘキモノニシテ本案ノ管轄裁判所カ之ニ付キ裁判ヲ爲ス限りハ債務者ノ利益ヲ維持スルニ足ルヲ以テナリ

債權者ハ假處分命令ヲ發シタル區裁判所ノ定メタル期間内ニ假處分命令ノ當否ニ關スル口頭辯論ノ爲メ相手方ヲ呼出スコトヲ本案ノ管轄裁判所ニ申立ツヘキモノトス其期間内ニ此申立アリタルコトカ明ナラサル限りハ區裁判所ハ後ニ説明スルカ如ク債務者ノ申立ニ依リ假處分命令ヲ取消スヘキモノニシテ其申立ニ基キ假處分命令ノ取消ヲ爲スニハ口頭辯論ヲ經ルコトヲ要セス且ツ債權者ヲ審訊スルコトヲ要セサルモノナルカ故ニ債權者ハ假處分命令ノ取消ヲ求ムル債務者ノ申立アルヲ待タス本案ノ管轄裁判所ニ前述ノ申立ヲ爲シタルコトヲ區裁判所ニ對シテ疏明スルノ必要アリト謂フヘシ債權者ハ區裁判所カ此申立ヲ爲スヘキ期間ヲ定メサル場合ニ於テモ本案ノ

管轄裁判所ニ此申立ヲ爲スコトヲ得ルモノトス又債務者ハ如何ナル場合ニ於テモ區裁判所ノ發シタル假處分命令ノ當否ニ關スル口頭辯論ノ爲メ債權者ヲ呼出スコトヲ本案ノ管轄裁判所ニ申立ツルコトヲ得ルモノトス蓋シ第七百六十一條第一項ノ規定ニ依レハ債務者ハ此假處分命令ノ當否ニ關シテ本案ノ管轄裁判所ノ裁判ヲ求ムル權利ヲ有スルモノト認ムヘキヲ以テナリ』スニ付テハ第七百四十五條ノ規定ヲ準用スヘキモノトス(七五六故ニ其裁判ハ口頭辯論ヲ經タル後判決ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノナリ而シテ此判決ニ於テハ區裁判所ノ發シタル假處分命令ノ認可ハ債權者カ保證ヲ立ツヘキコトヲ爲ス而シテ假處分命令ノ認可ハ債權者カ現在ニ於テモ尙ホ正當ナル之ヲ言渡スコトヲ得ヘシ本案ノ管轄裁判所カ區裁判所ノ發シタル假處分命令ノ當否ニ付キ裁判ヲ爲スニ當リテハ其命令カ現在ニ於テモ尙ホ正當ナルヤ否ヤヲ調査スヘキモノトス故ニ當事者ハ口頭辯論ニ於テ假處分命令ノ當否ヲ明ニスルカ爲メ其命令後ニ於ケル事實ヲモ主張スルコトヲ得ヘク且ツ

假處分命令ヲ爲ス際ニ於ケル事情ニ變更ヲ生シタルカ爲メ假處分ノ必要ナキニ至リタルトキハ裁判所ハ其命令ヲ取消シ又斯ル事情ニ依レハ假處分ノ必要ナカリシニ拘ラス現ニ其必要アルトキハ裁判所ハ其命令ヲ認可スヘキモノト謂フヘシ

債權者カ區裁判所ノ發シタル假處分命令ノ當否ニ關スル口頭辯論ノ爲メ債務者ヲ呼出スコトヲ區裁判所ノ定メタル期間内ニ於テ本案ノ管轄裁判所ニ申立テサルトキハ區裁判所ハ債務者ノ申立ニ依リ其ノ命シタル假處分即チ假處分命令ヲ取消スヘキモノトス(七六一、二)

右ニ述ヘタル所ニ依リテ假處分命令ノ取消ヲ求ムル債務者ノ申立ニ關スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スモノナリ此裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ加之ナラス此裁判ヲ爲スカ爲メニハ債權者ヲ審訊スルコトヲ要セサルナリ(七六一、三)

債務者ノ申立ヲ却下スル裁判ニ對シテハ口頭辯論ヲ經サル場合ニ於テ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(四五五)而シテ其申立ニ從ヒテ假處分命令ヲ取消ス裁判

ニ對シテハ第七百五十四條ノ規定ノ準用ニ依リ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス此裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘク且ツ債權者ヲ審訊セスシテ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナルカ故ニ若シスル解釋ヲ採ルニ非サレハ債權者カ其利益ヲ維持スルノ方法全ク之ナキニ至ルヘシ債務者カ假處分命令ノ取消ヲ求メサルトキハ其命令ハ依然效力ヲ有スルモノニシテ前述ノ期間ノ満了ニ依リ當然其效力ヲ失フモノニ非サルナリ

## 第八編 公示催告手續

### 第一章 汎論

公示催告手續トハ裁判所カ當事者ノ申立ニ依リ公示方法ヲ以テ利害關係人ニ請求又ハ権利ノ届出ヲ催告シ其届出ナキ場合ニ於テ失権ノ結果ヲ生セシムルコトヲ目的トスル手續ヲ謂フ(七六四、一)公示催告手續ハ其性質上一ノ非訟事件手續ナリ然レトモ民事訴訟法ニハ公示催告手續ニ關スル規定ヲ掲ケタルカ故ニ別段ノ規定ナキ限りハ民事訴訟法ニ於ケル一般ノ規定ヲ公示催告手續ニ準用スヘキモノト知ルヘシ

公示催告手續ハ裁判所ノ干與スル手續ナルカ故ニ公示方法ヲ以テ請求又ハ権利ノ届出ヲ催告スル手續ト雖モ他ノ官廳ノ干與スルモノハ公示催告手續ニ非ス例ヘハ公示方法ニ依リテ遺失物又ハ埋藏物ノ所有權ノ届出ヲ催告スル手續ノ如キ是ナリ又公示催告手續ハ公示方法ヲ以テ請求又ハ権利ノ届出ヲ催告シ其届出ナキ場合ニ於テ失権ノ結果ヲ生セシムルコトヲ唯一ノ目的トスル特別

ノ手續ナルカ故ニ他ノ目的ヲ有スル手續ニ於テ公示方法ニ依リ請求又ハ權利ノ届出ヲ催告スルニ當リテ其届出ナキカ爲メニ失權ノ結果ヲ生スルコトアルモ未タ以テ公示催告手續ノ存在スルモノト謂フヘカラサルナリ例ヘハ破産手續ニ於ケル債權届出ノ催告手續ハ之ヲ以テ公示催告手續ト認ムヘカラサルカ如シ

公示催告手續ハ法律ニ規定アル場合ニ限り之ヲ許スモノトス(七六四、一)唯民事訴訟法ハ如何ナル場合ニ於テ公示催告手續ヲ許スヘキヤニ付テノ規定ヲ設ケス之ヲ他ノ法律ニ一任セリ又民事訴訟法ハ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル者ノ何人ナルヤヲ規定セサルカ故ニ此問題モ亦他ノ法律ニ依リテ定マルモノト謂フヘシ唯盜取セラレ又ハ紛失若クハ滅失シタル或證書ノ無效ヲ宣言スヘキ公示催告手續ニ於テ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル者ニ付キテハ民事訴訟法ニ於テ特ニ規定ヲ設ケタリ(七七八)

公示催告手續ハ區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス而シテ何レノ區裁判所カ之ヲ取扱フヘキヤハ公示催告手續ヲ許シタル法律ノ規定ニ依リテ之ヲ定ムヘキ

モノナリ是レ民事訴訟法ニ於テ公示催告手續ヲ取扱フヘキ區裁判所ノ土地ノ管轄ニ付キ何等ノ規定ヲ設ケサルニ依リテ明ナル所トス(七六四二)

## 第二章 公示催告及ヒ除權判決

公示催告ハ申立ニ依リ之ヲ爲スモノトス公示催告ノ申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七六五、一)

公示催告ノ申立ニ關スル裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七六五、二)而シテ口頭辯論ヲ經スシテ公示催告ノ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(四五五)然レトモ口頭辯論ヲ經テ其申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得サルナリ然レトモ公示催告ノ申立人ハ其申立ノ却下セラレタル場合ニ於テ更ニ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ

公示催告ノ申立ヲ許スヘキトキハ公示催告ヲ爲スヘキモノトス公示催告ニハ特ニ左ノ事項ヲ掲クヘキモノナリ(七六五、三)

## (一)申立人ノ表示

(二)請求又ハ権利ヲ公示催告期日マテニ届出ツヘキ旨ノ催告

(三)届出ヲ爲ササルニ依リテ生スヘキ失権ノ表示

## (四)公示催告期日ノ指定

公示催告ハ之ヲ裁判所ノ掲示板ニ掲示シ且ツ官報又ハ公報ニ之ヲ掲載シテ其公告ヲ爲スヘキモノナリ其他法律ニ別段ノ規定ヲ設ケサルトキハ其公告ハ第二百五十七條第三項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スヘキモノトス(七六六)公示催告ノ公告ヲ裁判所ノ掲示板ニ掲示スル時間並ニ之ヲ官報又ハ公報ニ掲載スル回數等ハ裁判所ノ自由ノ意見ニ從ヒテ之ヲ定ムヘキモノナリ

公示催告期日ハ公示催告ノ目的物タル請求又ハ権利ノ届出ヲ爲スヘキ期間ノ終ニシテ其届出及ヒ除權判決ノ申立ニ付キ辯論ヲ爲スカ爲メニ存スルモノトス而シテ公示催告ヲ官報又ハ公報ニ掲載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ法律ニ別段ノ定ナキ限りハ少クトモ二ヶ月ノ時間ヲ存スルコトヲ要スルモノナリ(七六七)

公示催告期日ノ前又ハ其期日ニ於テ公示催告ノ目的物タル請求又ハ権利ノ届出ナキトキハ裁判所ハ公示催告ノ申立人ノ申立ニ依リ除權判決ヲ以テ失権ヲ宣言スヘキモノトス(七六九、一)然レトモ公示催告期日ノ終リタルニ拘ラス除權判決ヲ爲スマテニ届出アリタルトキハ適當ノ時期ニ届出アリタルモノト看做サルモノナリ故ニ此場合ニ於テハ除權判決ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(七八八)除權判決ノ申立ハ公示催告期日又ハ公示催告手續ヲ完結スルカ爲メニ更ニ指定セル新期日ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナリ(七七一)

右ニ述ヘタル所ニ反シ適當ノ時期ニ公示催告ノ目的物タル請求又ハ権利ノ届出アリタルトキハ公示催告手續ハ當然終了シ公示催告ノ申立人ハ其目的ヲ達スルコト能ハサルニ至ルモノナリ例へハ或證書ノ無效ヲ宣言センカ爲メ公示催告ヲ爲シタルニ當リ其證書ヲ提出シテ権利ノ届出ヲ爲シタル者アル場合ノ如シ故ニ此場合ニ於テ公示催告ノ申立人カ除權判決ノ申立ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ其申立ヲ却下スヘキモノトス

利害關係人ハ公示催告又ハ除權判決ヲ爲スニ必要ナル條件ノ存在セサルコト

ノ届出ヲ爲スコトナキニ非ス此場合ニ於テ裁判所カ其要件ノ存在セサルモノト認メタルトキハ除權判決ノ申立ヲ却下スヘキモノトス  
公示催告ノ申立ノ理由トシテ其申立人ノ主張シタル權利ヲ争フコトノ届出アリタルトキハ事情ニ從ヒ届出アリタル權利ノ存否ニ關スル判決ノ確定スルマテ公示催告手續ヲ中止シ又ハ除權判決ニ於テ其權利ヲ留保スヘキモノトス蓋シ公示催告手續ニ於テハ權利ノ存否ニ關スル裁判ヲ爲スヘキモノニ非サルヲ以テナリ(七七〇)公示催告ノ申立人ノ得ントスル結果ヲ制限スヘキ權利ノ届出アリタルトキハ裁判所ハ其權利ノ存在ヲ妨ケサル旨ノ制限ヲ附シテ除權判決ヲ爲スヘキモノトス

裁判所ハ除權判決ヲ爲ス前ニ詳細ナル探知ヲ爲スニ必要ナル命ヲ發スルコトヲ得ヘシ例ヘハ證據方法ノ提出ヲ命スルコトヲ得ルカ如シ(七六九二)  
除權判決ノ申立ヲ却下スル決定並ニ除權判決ニ附シタル制限及ヒ留保ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ又公示催告手續ヲ中止スル決定ニ對シテハ

### 一般ノ原則ニ從ヒ抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(一八九.七六九三)

公示催告ノ申立人カ公示催告期日ニ出頭セサルトキハ其期日ハ當然終了スルモノトス然レトモ其申立人ハ新期日ノ指定ヲ求メ以テ除權判決ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ唯新期日ノ指定ハ公示催告期日ヨリ起算スル六ヶ月ノ期間内ニ限り之ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス是レ公示催告後多クノ時日ヲ經過スルニ拘ラス尙ホ除權判決ヲ爲スコトヲ避クルカ爲ニ外ナラサルナリ故ニ公示催告ノ申立人カ此期間ヲ徒過シタルトキハ更ニ公示催告ノ申立ヲ爲スヨリ外ナキモノトス又新期日ノ指定ハ一回ニ限り之ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(七七一)裁判所カ公示催告手續ヲ完結スルカ爲メ新期日ヲ指定シタルトキ即チ之カ爲メ公示催告期日後更ニ期日ノ指定ヲ爲シタルトキハ其期日ノ公告ヲ爲スコトヲ要セサルモノトス(七七二)然レトモ裁判所カ期日ヲ定メテ在廷者ニ出頭ヲ命セサルトキハ公示催告ノ申立人其他期日ニ出頭スヘキ者ニ呼出狀ヲ送達セサルヘカラサルナリ(一六二)

除權判決ハ一般ノ規定ニ從ヒテ之ヲ作成シ且ツ其言渡ヲ爲スヘキモノトス除

權判決ノ效力ハ其言渡ニ依リテ生スルモノナルカ故ニ除權判決ハ送達ヲ待々  
スシテ其效力ヲ生スルモノト謂フヘシ

裁判所ハ除權判決ヲ言渡シタル後其重要ナル趣旨ヲ官報又ハ公報ニ掲載シテ  
其公告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(七七三)

公示催告手續ノ費用ハ公示催告ノ申立人ノ負擔ニ歸スルモノトス然レトモ利  
害關係人カ公示催告手續ニ加ハリタルトキハ第七十二條以下ノ規定ニ從ヒテ  
訴訟費用ヲ負擔スヘキモノナリ訴訟費用ノ負擔ハ除權判決ノ申立ニ付キ裁判  
ヲ爲スニ當リテ其言渡ヲ爲スヘキモノトス

除權判決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(七七四、一)故ニ除權判決  
ハ其言渡ト共ニ確定スルモノト謂フヘシ然レトモ左ニ掲タル場合ニ於テハ除  
權判決ニ對シ公示催告ノ申立人ニ對スル訴ヲ以テ公示催告裁判所ノ所在地ヲ  
管轄スル地方裁判所ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得ルモノトス(七七四、二)

(一)法律ニ於テ公示催告手續ヲ許ス場合ニ非サルトキ

(二)公示催告ノ公告ヲ爲サヌ又ハ法律ニ定メタル方法ヲ以テ其公告ヲ爲サヌ

### ルトキ

(三)公示催告ノ期間ヲ遵守セサルトキ

(四)除權判決ヲ爲シタル判事カ法律ノ規定ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラレ  
タルトキ

(五)請求又ハ權利ノ届出アリタルニ拘ラス除權判決ニ於テ法律ノ規定ニ從ヒ  
其届出ヲ顧ミサルトキ

(六)第四百六十九條第一號乃至第五號ノ場合ニ於テ原狀回復ノ訴ヲ許ス條件  
ノ存スルトキ

除權判決ニ對スル不服申立ノ訴ハ一个月ノ不變期間内ニ之ヲ提起スヘキモノ  
トス此期間ハ原告カ除權判決ヲ知リタル日ヲ以テ始マルモノナリ然レトモ原  
告カ既ニ述ヘタル第七百七十四條第四號又ハ第六號ニ掲タル不服申立ノ理由  
ニ基キテ訴ヲ提起シ且ツ除權判決ヲ知リタル日ニ其理由ヲ知ラサリシ場合ニ  
於テハ不服ノ理由ヲ知リタル日ヨリ此期間ヲ起算スヘキモノトス(七七五)  
除權判決言渡ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ絶對ニ除權判決ニ對スル不

服申立ノ訴ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス(七七五、二)

除權判決ハ不服申立ノ訴カ提起セラルルモ其效力ヲ妨ケラルルコトナシ然レ  
トモ此訴カ理由アルトキハ裁判所ハ除權判決ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル判決  
ヲ爲スヘキモノトス

除權判決ニ對スル不服申立ノ訴ヲ以テ其取消又ハ變更ノ判決ヲ求ムルコトヲ  
得ル者ハ之ニ付キ法律上ノ利益ヲ有スル者ニ限ルモノナリ  
裁判所ハ第百二十條ノ條件ノ存在セサルトキト雖モ數箇ノ公示催告ノ併合ヲ  
命スルコトヲ得ヘシ(七七六)

### 第三章 證書無効ノ宣言ヲ目的トスル

#### 公示催告手續

盜取セラレ又ハ紛失若クハ滅失シタル爲替手形其他法律ノ規定ニ依リテ無效  
ト爲スコトヲ得ヘキ證書ノ無效ヲ宣言スル公示催告手續ニ  
付キテハ左ニ掲タル特別ノ規定ヲ適用スヘキモノトス(六六四、七七七、民法施行

#### 法五七商二八二

(一)無記名證券又ハ裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ヘキ證書ニシテ白地裏書ヲ  
附シタルモノニ付テハ其最後ノ所持人公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ  
而シテ其他ノ證書ニ付テハ證書ニ依リテ權利ヲ主張スルコトヲ得ヘキ者此  
申立ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(七七八)

(二)公示催告手續ハ證書ニ表示シタル履行地ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト  
ス若シ證書ニ履行地ヲ表示セサルトキハ發行人力普通裁判籍ヲ有スル地ノ  
裁判所之ヲ管轄シ其裁判所ナキトキハ發行人カ發行ノ當時普通裁判籍ヲ有  
セシ地ノ裁判所之ヲ管轄スルモノトス然レトモ證書發行ノ原因タル請求ヲ  
不動產登記簿ニ記入シタルトキハ公示催告手續ハ其請求ノ擔保タル不動產  
ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ專屬スルモノナリ(七七九)

(イ)證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ證書ノ重要ナル趣旨及ヒ證書ヲ十分ニ認知ス  
ノトス(七八〇)

ルニ必要ナル諸件ヲ開示スルコト

(ロ) 証書カ盜難ニ罹リ又ハ其ノ紛失若クハ滅失シタルコトヲ疏明シ且ツ公示催告ヲ申立ツルコトヲ得ルノ理由タル事實即チ之ヲ申立ツル權利ノ基礎タル事實ヲ疏明スルコト

(四) 公示催告ニハ公示催告期日マテニ權利ヲ届出テ且ツ其證書ヲ提出スヘキ旨ヲ證書ノ所持人ニ催告シ又失權トシテ證書ノ無效ヲ宣言スヘキ旨ヲ戒示スヘキモノトス(七八一)

(五) 公示催告ハ裁判所ノ掲示板ニ之ヲ掲示シ且ツ官報又ハ公報ニ之ヲ掲載スル外新聞紙ニ三回之ヲ掲載シテ其公告ヲ爲スヘキモノトス若シ公示催告裁判所ノ所在地ニ取引所アルトキハ亦取引所ニモ公示催告ノ公告ヲ爲スヘキモノナリ(七八二)

(六) 公示催告ヲ官報又ハ公報ニ掲載シタル日ト公示催告期日トノ間ニハ少クトモ六个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要スルモノトス(七八三)

(七) 除權判決ニ於テハ證書ヲ無効ナリト宣言スヘキモノトス而シテ除權判決

ノ重要ナル趣旨ハ官報又ハ公報ヲ以テ之ヲ公告スヘキモノナリ是レ證書ノ無效ヲ宣言スル除權判決ニ依リテ生スル效果ノ甚タ重大ナルカ爲メニ外ナラス(七八四、一、二)

(八) 除權判決ニ對スル不服申立ノ訴ニ依リ除權判決ニ於ケル無効ノ宣言ヲ取消ス判決ヲ爲シタルトキハ其判決ノ確定後官報又ハ公報ヲ以テ之ヲ公告スヘキモノトス是レ其公告ヲ爲ササルトキハ除權判決ノ取消ヲ知ラサル第三者ヲシテ不測ノ損害ヲ被ラシムルコトアルヲ以テナリ(七八四、三)

(九) 除權判決ノ言渡アリタルトキハ公示催告ノ申立人ハ證書ヲ所持セサルモ證書ニ依リテ債務ヲ負擔スル者ニ對シ證書ニ依ル權利ヲ主張スルコトヲ得ヘシ(七八五)然レトモ除權判決ノ言渡ハ第三者カ公示催告ノ申立人ニ對シテ證書ニ依ル權利ヲ自己ノ爲メニ主張スルコトヲ妨ケサルナリ

## 第九編 仲裁手續

### 第一章 汎論

仲裁手續トハ當事者間ノ仲裁契約ヲ基礎トシテ仲裁人ニ依リ當事者間ノ法律上ノ爭ヲ裁断スルコトヲ目的トスル手續ヲ謂フ故ニ仲裁手續ハ民事訴訟ノ性質ヲ有スルモノニ非スト知ルヘシ然レトモ仲裁手續ハ種種ノ點ニ於テ民事訴訟ト關係ヲ有スルカ故ニ民事訴訟法ニ於テハ仲裁手續ニ關スル規定ヲ設ケタリ

仲裁手續ハ當事者間ノ仲裁契約ヲ以テ其基礎ト爲スモノナルカ故ニ當事者カ法律ノ規定ニ依リ相互ノ間ニ於ケル争ヲ仲裁人ノ判断ニ委ヌヘキ場合アリトセハ是レ即チ所謂仲裁手續ノ存在スルモノニ非ナルナリ

仲裁手續ノ基礎ハ當事者間ノ仲裁契約ナリ仲裁契約トハ當事者カ仲裁手續ニ依リテ相互ノ間ニ於ケル法律上ノ争ヲ完結センコトヲ約スル契約ヲ謂フ仲裁契約ハ私法上ノ效果ヲ目的トスルモノナルカ故ニ其成立及ヒ效力ニ關スル規

定ハ私法ノ範圍ニ屬スルモノト謂ハサルヘカラス然ルニ民事訴訟法ニ於テハ便宜上之ニ關スル規定ヲ設ケタリ

當事者カ仲裁人ニ仲裁手續ノ施行ヲ委託シ仲裁人カ其任務ヲ引受クルコトヲ約スル場合ニ於テハ其間ニ一ノ契約ノ存スルモノトス此契約ニ關シテハ民事訴訟法ニ於テ何等ノ規定ヲ設ケサルカ故ニ之ニ民法ノ規定ヲ適用スヘキモノト知ルヘシ(民六五六)

## 第二章 仲裁契約ノ目的物、内容及ヒ效力

仲裁契約ハ法律上ノ争ヲ以テ其目的物ト爲スモノトス故ニ仲裁契約ノ目的物タル争ハ法律關係ノ存否、其效力又ハ範圍ニ關スル争ナラサルヘカラス果シテ然ラハ仲裁契約ノ目的物ハ争ニ依ル法律關係ニ外ナラスト謂フヘシ故ニ事實其モノニ關スル争ハ之ヲ以テ仲裁契約ノ目的物ト爲スコトヲ得サルモノトス然レトモ事實ニ關スル争カ其實法律關係ニ關スル争ナルトキハ仲裁契約ノ目的物タルコトヲ得ルハ勿論ナリ例へハ損害ノ有無又ハ其額ニ關スル争カ損害

賠償ノ義務ノ存在又ハ其範圍ニ關スル争ニ外ナラサルトキハ其争ハ仲裁契約ノ目的物タルコトヲ得ヘク又物ノ或性質ニ關スル争カ其性質ノ存在又ハ不存在ニ依リテ生スル義務ニ關スル争ニ外ナラサルトキハ其争ハ仲裁契約ノ目的物タルコトヲ得ヘキカ如シ

仲裁契約ノ目的物タル法律上ノ争ハ通常裁判所ノ管轄ニ屬スル訴訟ノ目的物タルコトヲ得ヘキ法律關係ニ關スルモノナラサルヘカラス是レ仲裁判断ノ取消ノ訴ハ通常裁判所タル區裁判所又ハ地方裁判所ノ管轄ニ屬シ且ツ其事物ノ管轄ハ仲裁契約ニ於テ別段ノ定ヲ爲ササル限りハ仲裁契約ノ目的物タル係争ノ法律關係ニ關シテ提起スヘキ訴ニ付テノ事物ノ管轄ニ關スル規定ニ依リ定マルニ依リテ自ラ明ナル所ナリ(八〇五、一)果シテ然ラハ仲裁契約ノ目的物タル法律上ノ争ハ通常私法上ノ争ナリト謂フヘシ

仲裁契約ノ目的タル法律上ノ争ハ一定セサルヘカラス然レトモ其争ハ必シモ現在ノ争タルコトヲ要セス將來ノ争タルモ亦可ナリ而シテ將來ノ争ハ一定ノ法律關係及ヒ其法律關係ヨリ生スル争タル場合ニ限り之ヲ以テ一定セルモノ

ト認ムヘキモノトス故ニ將來ノ法律上ノ爭ヲ目的物トスル仲裁契約ハ一定ノ法律關係及ヒ其法律關係ヨリ生スル爭ニ關スルトキニ限り其效力ヲ生スルモノナリ(七八七)然レトモ仲裁契約ノ目的物タル將來ノ法律上ノ爭ノ生スヘキ一定ノ法律關係ハ將來ニ於テ發生スヘキモノタルコトヲ得ヘシ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ仲裁契約カ當事者間ニ於ケル一切ノ法律上ノ爭又ハ種類ヲ以テ指定セル法律上ノ爭ヲ目的物トスルトキハ其效力ヲ生スルコトヲ得サルモノト謂フヘシ

仲裁契約ノ目的物タル法律上ノ爭ハ當事者カ之ニ付キ和解ヲ爲スコトヲ得ルモノタルヲ必要トス即チ當事者カ相互ノ讓歩ニ依リテ完結スルコトヲ得ヘキ法律上ノ爭ニ非サレハ之ヲ以テ仲裁契約ノ目的物ト爲スコトヲ得サルモノトス要スルニ仲裁契約ハ和解ニ類似スルカ故ニ當事者カ係争物ニ付キ和解ヲ爲スコトヲ得ヘキトキニ限り其效力ヲ生スルモノナリ(七八六)

仲裁契約ニ於テ仲裁人ヲ選定シ又ハ其選定ニ關スル定ヲ爲スハ仲裁契約ノ效力ヲ生スルニ必要ナル條件ニ非ス蓋シ當事者カ仲裁契約ニ於テ仲裁人ヲ選定

セヌ又ハ其選定ニ關シ何等ノ定ヲ爲ササルトキハ法律ノ規定ニ依リ互ニ仲裁人選定ノ權利義務ヲ有スルカ爲メ仲裁契約ニ於テ仲裁人ヲ選定シ又ハ其選定ニ關スル定ヲ爲スノ必要ナキヲ以テナリ(七八八)然レトモ當事者カ仲裁契約ニ於テ仲裁人ヲ選定シ又ハ其選定ニ關スル定ヲ爲ス場合ハ實際勘カラス而シテ仲裁人ノ資格ニ關シテハ法律ニ於テ何等ノ規定ヲ設ケサルカ故ニ未成年者、聾者又ハ啞者ト雖モ仲裁契約ニ於テ之ヲ仲裁人ニ選定スルコトヲ得ヘシ然レトモ仲裁契約ニ於テ當事者又ハ心神喪失者ヲ仲裁人ニ選定シタルトキハ其仲裁契約ハ效力ヲ生スルコトヲ得ス蓋シ其仲裁契約ハ不能ノ事項ヲ目的トスルモノナルヲ以テナリ又公法上ノ法人又ハ官廳カ法律ノ規定ニ依リ當事者ノ委託ニ應シテ仲裁判斷ヲ爲スヘキ義務ヲ負擔スルトキハ當事者ハ仲裁契約ニ於テ之ヲ仲裁人ニ選定スルコトヲ得ヘク私法上ノ法人又ハ官廳カ仲裁判斷ヲ爲スキ法律上ノ義務ヲ負擔セサルニ當リ當事者カ仲裁契約ニ於テ之ヲ仲裁人ニ選定シタルトキハ其代表者タル一私人ヲ仲裁人ニ選定シタルモノト解スルヲ至

## 當トス

當事者カ仲裁契約ニ於テ仲裁人ノ選定ニ關スル定ヲ爲スニ當リテハ當事者雙方其選定ヲ爲スヘキモノト定メ若クハ當事者ノ一方ノミカ其選定ヲ爲スヘキモノト定メ又ハ第三者ヲシテ其選定ヲ爲サシムヘキモノト定ムルコトヲ得ヘシ

當事者ハ仲裁契約ニ於テ仲裁手續ニ關スル定ヲモ爲スコトヲ得ルモノナリ仲裁契約ニ依リ當事者ハ仲裁人ヲシテ其目的物タル法律上ノ爭ヲ裁断セシムヘキ義務ヲ互ニ負擔スルモノナム故ニ當事者ノ一方カ仲裁契約ノ目的物タル法律上ノ争ニ關シテ訴ヲ提起シタルトキハ相手方ハ當事者ノ一方カ其法律上ノ争ニ關シ訴ヲ提起シテ自己ニ利益ナル判決ヲ求ムルコトノ不當ナル旨ヲ主張スルコトヲ得ヘシ然レトモ當事者ハ仲裁契約ニ基キテ妨訴抗辯ノ一種タル無訴權ノ抗辯ヲ提出スルコトヲ得ルモノニ非ス蓋シ仲裁契約ノ存在スル場合ニ於テモ其目的物タル係争ノ法律關係ニ關スル訴訟ハ司法裁判所ノ權限ニ屬スルモノニシテ其目的物タル係争ノ法律關係ハ民事訴訟ノ目的物ト爲ルコト

## ヲ得ルモノナルヲ以テナリ

## 仲裁契約(七九三)

仲裁契約ハ當事者カ左ノ場合ニ付キ別段ノ定ヲ爲ササリシトキハ其效力ヲ失フモノトス(七九三)

(一)仲裁契約ニ於テ選定シタル仲裁人カ死亡シ又ハ其他ノ理由(例ヘハ疾病又ハ適法ナル忌避等)ニ依リテ欠缺シタルトキ又ハ其仲裁人カ任務ヲ引受クルコトヲ拒ミ若クハ其任務ノ引受ニ關シテ當事者ト取結ヒタル契約ヲ解除シ若クハ其任務ノ施行ヲ不當ニ遲延シタルトキ

(二)數人ノ仲裁人カ其意見ノ可否同數ナルコトヲ當事者ニ通知シタルトキ  
(三)仲裁契約ニ於テ仲裁人ノ選定ヲ或第三者ニ委託スル旨ヲ定メタル場合ニ於テ其第三者カ其委託ニ應セサルトキ又ハ之ヲ完ウスルコト能ハサルトキ此場合ニ於テハ法律ニ明文ナキモ仲裁契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノナルカ故ニ仲裁契約ハ第一ノ場合ト同ク其效力ヲ失フモノト解セサルヘカラス

### 第三章 中裁人之界定

四

當事者雙方力仲裁契約又ハ法律ノ規定ニ依リテ仲裁人ヲ選定スル權利義務ヲ有スル場合ニ於テハ左ノ結果ヲ生スルモノトス

(一)先ニ仲裁人ヲ選定スル當事者ハ其ノ選定シタル仲裁人ヲ書面ヲ以テ相手方ニ指示シ且ツ七日ノ期間内ニ同一ノ手續ヲ爲スヘキ旨ヲ之ニ催告スヘキモノトス相手方カ此期間ヲ徒過シタルトキハ先ニ此手續ヲ爲シタル當事者ハ相手方ニ對スル訴ヲ以テ管轄裁判所ニ仲裁人ノ選定ヲ求ムルコトヲ得ヘキシ仲裁人ノ選定ハ終局判決ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス故ニ仲裁人選定ノ催告ヲ受ケタル相手方カ催告後七日ノ期間内ニ選定ヲ爲ササルトキハ選定

ヲ爲ス 権利ヲ失フニ至ルモノト謂フヘシ(七八九、八〇五)

(二) 仲裁契約ニ於テ選定シタル仲裁人ニ非サル仲裁人力死亡シ又ハ其他ノ理由ニ依リテ欠缺シ又ハ其任務ノ引受若クハ施行ヲ拒ミタルトキハ其仲裁人ヲ選定シタル當事者ハ更ニ仲裁人ヲ選定スルコトヲ得ヘシ加之ナラス其當事者ハ相手方ノ催告ニ依リ七日ノ期間内ニ他ノ仲裁人ヲ選定スヘキモノトス若シ右ノ當事者カ此期間ヲ徒過シタルトキハ相手方ハ訴ヲ以テ管轄裁判所ニ仲裁人ノ選定ヲ求ムルコトヲ得ヘシ仲裁人ノ選定ハ終局判決ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス(七九一)

## 第四章 仲裁人之忌避

仲裁手續 仲裁人ノ忌避

仲裁人ノ資格ニ關シテハ前述ノ如ク法律ニ何等ノ規定ナキカ故ニ何人ト雖モ之ヲ仲裁人ニ選定スルコトヲ得ルモ當事者ハ法律ノ規定ニ從ヒテ或仲裁人ヲ忌避スルコトヲ得ヘシ

當事者ハ判事ヲ忌避スルト同一ノ原因及ヒ條件ニ依リテ仲裁人ヲ忌避スルコトヲ得ヘク又仲裁人カ無能力者、聾者又ハ啞者ナルトキハ當事者ハ之ヲ忌避スルコトヲ得ヘシ當事者カ仲裁契約ニ於テ仲裁人ヲ選定シタル場合ニ於テモ亦同シ然レトモ當事者カ仲裁契約ニ於テ仲裁人ヲ選定スルニ當リ忌避ノ原因タル此等ノ事情ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス蓋シ此場合ニ於テハ忌避權ヲ棄棄シタルモノト認メサルヲ得サルヲ以テナリ又仲裁契約ニ於テ選定シタル仲裁人ニ非サル仲裁人カ不當ニ其任務ノ施行ヲ遲延シタルトキハ之ヲ忌避スルコトヲ得ルモノトス(七九二)

仲裁人ノ忌避ハ仲裁人ニ對シテ之ヲ申出ツヘキモノトス仲裁人カ忌避ヲ正當ト認メテ其任務ノ施行ヲ中止シタルトキハ他ノ仲裁人ヲ選定スルノ必要ヲ生スルニ至ルモノトス仲裁人カ忌避ヲ不當ト認メタルトキハ仲裁手續ヲ續行シ

且ツ仲裁判断ヲ爲スコトヲ得ヘシ(七九七)然レトモ忌避ノ正當ナルコトヲ主張スル當事者ハ第八百一條第一號ノ規定ニ從ヒテ仲裁判断ノ取消ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス又當事者ノ一方カ忌避ノ正當ナルコトヲ認メサルトキハ其ノ正當ナルコトヲ主張スル相手方ハ之ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ得ルモノナリ(八〇五)又仲裁人カ忌避ノ不當ナルコトヲ認ムル限りハ裁判所カ忌避ニ關スル訴ニ基キ忌避ノ正當ナルコトヲ認ムル判決ヲ爲シタル後ト雖モ仲裁手續ヲ續行シ且ツ仲裁判断ヲ爲スコトヲ妨ケサルナリ(七九七)但シ當事者ハ第八百一條第一號ノ規定ニ從ヒテ仲裁判断ノ取消ヲ求ムルコトヲ得ヘシ

## 第五章 手 續

當事者ハ前述ノ如ク仲裁契約ニ於テ仲裁手續ヲ隨意ニ定ムルコトヲ得ルノミナラス其後ノ契約ニ於テ隨意ニ之ヲ定ムルコトヲ得ルヲ本則トス故ニ法律ニ定メタル仲裁手續ハ本則トシテ當事者ノ契約ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得ルモノナリ從テ仲裁手續ニ關スル規定ハ本則トシテ當事者ノ契約ニ依リ其適用

ヲ避クルコトヲ得ルモノトス謂フヘシ然レトモ當事者ハ仲裁手續ニ關シテ事物ノ性質ニ反スル定ヲ爲スコトヲ得サルモノトス例へハ仲裁判斷ニ對シ裁判所ニ上訴ヲ提起スルコトヲ得ル旨ヲ定ムルコトヲ得サルカ如シ又當事者ハ契約ニ依リ法律カ重要ト認メタル仲裁手續ニ關スル規定ノ適用ヲ避クルコトヲ得サルモノトス例へハ契約ヲ以テ仲裁判斷ノ方式ニ關スル規定ノ適用ヲ避クルコトヲ得サルカ如シ

仲裁手續ニ關シテ當事者カ何等ノ定ヲ爲ササル場合ニ於テ仲裁手續ニ關スル別段ノ規定ナキトキハ仲裁人ハ自由ノ意見ヲ以テ其手續ヲ定ムルコトヲ得ヘシ法律カ仲裁手續ニ關シテ設ケタル規定ハ左ノ如シ

(一)仲裁人カ仲裁判斷ヲ爲スニ當リテハ其前ニ當事者双方ヲ審訊シ且ツ必要ナル限リハ争ノ原因タル事實關係ヲ探知スヘキモノトス然レトモ仲裁人ハ實際當事者双方ヲ審訊シタル後ニ非サレハ仲裁判斷ヲ爲スコトヲ得サルモノト謂フヘカラス唯當事者双方ニ陳述ヲ爲ス機會ヲ與フレハ足レリ(七九四)

(二)仲裁人ハ其面前ニ任意ニ出頭スル證人又ハ鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得ヘ

シ然レトモ證人又ハ鑑定人ヲシテ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得ス證人又ハ鑑定人カ自ラ宣誓ヲ爲スヘキ旨ヲ申出テタル場合ニ於テモ亦然リ(七九五)

(三)仲裁人ハ當事者カ仲裁手續ヲ許スヘカラサルコトヲ主張スルトキ就中法律上有効ナル仲裁契約ノ存在セサルコト、仲裁契約カ仲裁人ノ判斷セントスル法律上ノ争ニ關セサルコト又ハ仲裁人カ其任務ヲ施行スル權ナキコトヲ主張スルトキト雖モ仲裁手續ヲ中止スルコトヲ要セス其意見ニ從ヒテ之ヲ續行シ且ツ仲裁判斷ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(七九七)

(四)數人ノ仲裁人カ仲裁判斷ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ過半數ヲ以テ其意見ヲ定ムヘキモノトス然レトモ仲裁契約ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラサルナリ(七九八)

(五)仲裁判斷ニハ其理由ヲ附スヘキモノトス(八〇一、一、五號)又仲裁判斷ハ之ヲ書面ニ作リ且ツ其作成ノ年月日ヲ記載シテ仲裁人之ニ署名、捺印スヘキモノトス(七九九、一)

仲裁人ノ署名捺印シタル仲裁判斷ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達シ其原本ハ送

達證書ヲ添ヘテ管轄裁判所ノ書記課ニ之ヲ預ケ置クヘキモノトス(七九九、二)  
 右ニ述ヘタル外仲裁裁判斷ノ手續ニ付キ何等ノ定ヲ爲サル限りハ仲裁人ハ既ニ述ヘタル  
 故ニ當事者カ此手續ニ付キ何等ノ定ヲ爲サル限りハ仲裁人ハ既ニ述ヘタル  
 所ニ依リ自由ノ意見ニ從ヒテ仲裁裁判斷ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲スコトヲ得  
 ヘシ唯其行爲ハ一私人ノ爲スコトヲ得ヘキモノタルヲ要スルノミ故ニ仲裁人  
 ハ當事者ヲ審訊スルニ當リ口頭又ハ書面ヲ以テ陳述ヲ爲サシメ當事者ノ陳述  
 ヲ爲スヘキ期間ヲ定メ且ツ當事者カ其ノ爲スヘキ行爲ヲ爲ササル場合ニ於テ  
 ハ適當ナル處置ヲ爲スコトヲ得ルモノトス又仲裁人ハ事實關係ヲ探知スルカ  
 爲メ必要ナリト認ムルトキハ當事者本人ニ出頭ヲ命シ證書ヲ提出セシメ任意  
 ニ出頭スル證人若クハ鑑定人ヲ訊問シ又ハ檢證ヲ爲スコトヲ得ヘシ之ヲ要ス  
 ルニ仲裁人ハ其意見ニ從ヒテ事實關係ヲ探知スル方法ヲ定ムルコトヲ得ルモ  
 ノトス

仲裁人カ其ノ爲スコトヲ得サル行爲ニシテ裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ必要  
 ト認ムルトキハ法律上ノ共助ノ規定ニ從ヒテ之ヲ裁判所ニ囑託スルコトヲ得

ルモノニ非ス蓋シ仲裁人ハ司法機關ニ非サルヲ以テナリ故ニ此場合ニ於テハ  
 仲裁人ハ當事者ヲシテ管轄裁判所ニ其行爲ヲ爲スコトヲ申立テシメサルヘカラス

當事者カ仲裁人ノ爲スコトヲ得サル行爲ニシテ仲裁裁判斷ヲ爲スニ必要ナリト  
 仲裁人ニ於テ認メタルモノヲ爲スコトヲ求ムル申立ヲ管轄裁判所ニ爲シタル  
 トキハ管轄裁判所ハ其申立ノ正當ナルヤ否ヤヲ調査スヘキモノトス即チ當事  
 者ノ求メタル行爲カ本來裁判所ノ權限ニ屬スルモノナルヤ否ヤ又其行爲カ法  
 律上爲スコトヲ得ルモノナルヤ否ヤ又其行爲ヲ爲スニ付キ管轄權ヲ有スルヤ  
 否ヤヲ調査スヘキモノナリ然レトモ當事者ノ求メタル行爲カ仲裁裁判斷ヲ爲ス  
 ニ必要ナルヤ否ヤハ之ヲ調査スヘキモノニ非ス若シ管轄裁判所カ當事者ノ申  
 裁判所カ當事者ノ申立ニ依リ證人又ハ鑑定人ヲ訊問スヘキトキハ期日ヲ定メ  
 テ之ヲ呼出シ其供述ヲ調書ニ記載スヘキモノトス若シ證人又ハ鑑定人カ證言  
 又ハ鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ裁判所ハ必要ナル裁判ヲ爲スヘキモノ

ナリ(七九六、二)又證人又ハ鑑定人カ呼出ニ應シテ出頭セサル場合ニ於テハ裁判所ハ必要ナル裁判ヲ爲スヘキモノトス此事タルヤ法律ニ於テ明ニ之ヲ規定セスト雖モ裁判所カ證人又ハ鑑定人ヲ呼出スコトヲ得ヘキ限りハ之ヲ認メサルヲ得サルナリ又裁判所カ當事者ノ申立ニ依リ官廳又ハ官吏ニ證書ノ送付ヲ嘱託スヘキトキハ之ニ對スル囑託書ヲ發スヘキモノトス而シテ受命判事又ハ受託判事ヲシテ證據調ヲ爲サシムヘキ場合ニ於テハ裁判所ハ之カ爲メニ必要ナル命令ヲ發スヘキモノナリ裁判所ニ於ケル證據調ノ結果ヲ記載シタル調書ハ之ヲ裁判所ヨリ仲裁人ニ送付スヘキモノニ非ス故ニ當事者ハ其勝本ヲ得テ自ラ之ヲ仲裁人ニ提出セサルヘカラス官廳又ハ官吏カ裁判所ニ送付シタル證書ニ付キテモ亦同シ

## 第六章 仲裁判断ノ效力

仲裁判断ハ當事者間ニ於テ確定判決ト同一ナル效力ヲ有スルモノトス故ニ訴訟ニ於テ有效ニ仲裁判断ニ反スル主張ヲ爲スコトヲ得サルニ至ルモノナリ果

# 欠

# 欠

## (五) 仲裁判斷ニ理由ヲ附セサルトキ

(六) 第四百六十九條第一號乃至第五號ノ場合ニ於テ原狀回復ヲ許スニ必要ナル條件ノ存スルトキ

当事者カ仲裁契約ニ於テ仲裁人カ仲裁判斷ヲ爲ス前ニ當事者ヲ審訊スルコトヲ要セサル旨ヲ定メ又ハ仲裁判斷ニ理由ヲ附スヘカラサル旨若クハ之ヲ附スルヲ要セサル旨ヲ定メタルトキハ第四號及ヒ第五號ニ掲ケタル理由ニ基キテ仲裁判斷ノ取消ヲ求ムルコトヲ得サルモノナリ(八〇一、二)

仲裁判斷ノ取消ハ仲裁判斷ノ執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ言渡ス執行判決アリタル後ト雖モ尙ホ之ヲ求ムルコトヲ得ヘシ然レトモ斯ル執行判決アリタル後ハ第八百一條第六號ニ掲クル理由カ存在シ且ツ當事者カ其過失ニ非スシテ前ノ手續ニ於テ取消ノ理由ヲ主張スル能ハサリシコトヲ疏明スルトキニ限り仲裁判斷ノ取消ヲ求ムルコトヲ得ルモノナリ(八〇三)

仲裁判斷ノ取消ハ訴ヲ以テ之ヲ申立ツヘキモノナリ仲裁判斷ノ取消ヲ求ムル訴ハ一定ノ期間内ニ之ヲ提起スルコトヲ要セサルモノトス唯執行判決アリタ

ル後ニ仲裁判斷ノ取消ヲ求ムル訴ハ一个月ノ不變期間内ニ之ヲ提起スルコトヲ要スルモノナリ此期間ハ當事者カ取消ノ理由ヲ知リタル日ヲ以テ始マルモノトス然レトモ執行判決ノ確定前ニ在リテハ其進行ヲ始ムルコトナシ又執行判決アリタル後ニ仲裁判斷ノ取消ヲ求ムル訴ハ執行判決ノ確定シタル日ヨリ起算シテ五年ヲ經過セハ之ヲ提起スルコトヲ得サルニ至ルモノトス(八〇四、一)此仲裁判斷取消ノ訴ニ基キテ仲裁判斷ヲ取消ス判決ヲ爲ストキハ同時ニ執行判決ノ取消ヲ言渡スヘキモノトス(八〇四、二)

以上述ヘタル所ニ依レハ仲裁判斷ノ取消ハ確定判決ノ取消ニ比シテ其手續期間及ヒ原因ヲ異ニスルモノト謂フヘシ故ニ仲裁判斷ノ取消ヲ求ムル訴ハ再審ノ訴ニ外ナラストスル學說ハ誤謬ナリト謂フヘシ

## 第七章 管轄裁判所

仲裁人ノ選定若クハ忌避ニ關スル訴、仲裁契約ノ消滅(即チ其效力ノ消滅)ニ關スル訴、仲裁手續ノ許スヘカラサルコトヲ主張スル訴、仲裁判斷ノ取消ヲ求ムル訴及ヒ執行判決ヲ求ムル訴及ヒ當事者カ其規定ニ從ヒテ爲シタル仲裁人ノ選定ヲ裁判所ニ求ムル訴及ヒ當事者カ其規定ニ從ヒテ仲裁人ノ選定ノ正當ナルコトヲ主張シ又ハ其ノ不當ナルコトヲ主張スル訴ナリ  
右ニ述ヘタル訴ニ付キ管轄權ヲ有スル裁判所ハ仲裁人カ仲裁判斷ヲ爲スニ必要ナリト認メタル行爲ニシテ仲裁人ノ爲スコトヲ得サルモノヲ爲シ且ツ仲裁判斷ノ原本ヲ保存スヘキ裁判所ナリトス法律ニハ此等ノ事項ニ關シテ管轄權ヲ有スル裁判所ノ何タルヤヲ示サスト雖モ蓋シ此見解ノ外ニ出フルコトナラン

仲裁手續ニ牽連スル訴ニ付キ管轄權ヲ有スル裁判所又ハ仲裁手續ニ干與スヘキ裁判所カ數箇アルトキハ當事者又ハ仲裁人カ最初ニ仲裁手續ニ關係セシメ

民事訴訟法要論 終

タル裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス(八〇五、二)

一六三八

大正二年五月二十八日初版印刷  
大正三年一月十二日訂正再版印刷  
大正三年十一月一日訂正三版印刷

大正五年三月一日訂正第四版印刷  
大正五年三月五日訂正第四版發行

(民事訴訟法要論下巻奥付) N改丁

著者 仁井田益太郎 江草重忠

發行者 水野慶次郎 原亮三郎 松澤亮三郎

印 刷 者

不許複製

江草重忠 東京市神田區一ツ橋通町五番地

水野慶次郎 東京市日本橋區通油町十八番地

原亮三郎 東京市下谷區龍泉寺町四百十番地

松澤亮三郎 東京市麹町區下六番町十七番地

水野閣書房 金港堂書籍株式會社

發行所 東京市日本橋區通油町十八番地  
電話本局三三三番一四四九番地  
振替貯金口座東京三七〇番地  
東京市日本橋區本町三丁目十七番地  
電話本局三〇二番地

舍勞同〔九六三町番詰電〕地番七十町番六下區町麴市京東所刷印

法學博士 仁井田益太郎先生著

## ▼民事訴訟法大綱

正價金貳圓八拾錢

送料金拾貳錢

全一冊製

## ▼刑法要論

上製 正價金參圓

送料金拾貳錢

全一冊製

本書は成る可く論理的の説明を避け現行法の規定を漏れなく平易に簡明に説明し人事訴訟にも論及せり。民事訴訟の法規に精通するには先づ其全班に通じ然る後研究を重ねるの要あり。本書は前述の内容を有するが爲め短時目に其全班を窺はんとする受験者及初学者に絶好の著述なり。

法學博士 仁井田益太郎先生著

## ▼親族法相續法論

正價金參圓

送料金拾六錢

全一冊製

法學博士 仁井田益太郎先生著

## ▼日本刑法論

正價金四圓五拾錢

送料金貳拾錢

全一冊製

法學博士 豊島直通先生著 (訂正六版)

## ▼修正刑事訴訟法新論

正價金參圓五錢

送料金拾貳錢

全一冊製

本書は久しく絶版となり大方の期待せられたる増補改版にして其重要な訂正は就中因果關係の中斷に關する觀念、犯意の概念、法律の錯誤及び過失等の説明を一層適確にし其餘各論の更正亦少くららず、且各論の部に於ては沿革上の説明並に實際問題に關し甚多の増補を爲し加之最近判例の主要なるもの逐條挿入して研學上の便宜を加へ愈々面目一新せり。

博士の刑事訴訟法として斯界に名聲を博せる本書は修正以來彌日上にも世人の活用を引き四版五版幾月ならずして忽ち賣盡し今又第六版を發賣す、而も博士の該博なる頭腦と眞密なる達見とに依る革新にして的確なる所論を平易にして精細を極めし説明とは自から本書の信用を偉大ならしめ洵に學界に於ける一流の名著と謂ふべし。



終

